

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 特許公報(B2)

(11) 特許番号

特許第6780850号
(P6780850)

(45) 発行日 令和2年11月4日(2020.11.4)

(24) 登録日 令和2年10月19日(2020.10.19)

(51) Int.Cl.

A63F 5/04 (2006.01)

F 1

A 6 3 F 5/04 6 2 0
A 6 3 F 5/04 6 5 1

請求項の数 2 (全 35 頁)

(21) 出願番号 特願2016-217013 (P2016-217013)
 (22) 出願日 平成28年11月7日 (2016.11.7)
 (65) 公開番号 特開2018-75058 (P2018-75058A)
 (43) 公開日 平成30年5月17日 (2018.5.17)
 審査請求日 令和1年6月10日 (2019.6.10)

早期審査対象出願

前置審査

(73) 特許権者 390031772
 株式会社オリンピア
 東京都台東区東上野一丁目16番1号
 (74) 代理人 100135666
 弁理士 原 弘晃
 (72) 発明者 都筑 崇弘
 東京都台東区東上野一丁目16番1号 株式会社オリンピア内
 (72) 発明者 ▲高▼橋 純一
 東京都台東区東上野一丁目16番1号 株式会社オリンピア内
 審査官 櫻井 茂樹

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】遊技機

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項 1】

外周面に複数種類の図柄が配列されている複数のリールと、
 複数種類の役の当否を決定する内部抽選を行う内部抽選手段と、
 前記複数のリールを遊技毎に回転させ、停止操作を契機として、内部抽選の結果に応じた態様で回転中のリールを停止させる制御を行うリール制御手段と、
 前記複数のリールが停止した状態で、役毎に予め定められた入賞形態を示す図柄組合せが有効ライン上に表示されていることに基づいて、役が入賞したと判定する入賞判定手段と、

演出状態が変動不可能な通常区間と演出状態が変動可能な有利区間とを設定可能とし、
 通常区間ににおいて特定抽選を行い、特定抽選に当選したことに基づいて有利区間を開始し、
 有利区間では所定条件下で演出状態を特別演出状態に変動させるとともに、滞在している演出状態に関わらずにクリアカウンタの値を更新し、クリアカウンタの値が所定値に達したことに基づいて有利区間を終了させて所定の初期化処理を行って通常区間に復帰させる特典付与手段と、

前記特別演出状態において所定の役の入賞を補助する入賞補助演出を演出装置に実行させる制御を行う演出制御手段と、を備え、

前記有利区間である場合に限って演出状態を前記特別演出状態に設定可能とした遊技機であって、

前記複数種類の役がボーナスを含み、

10

20

前記内部抽選手段が、

遊技状態に応じて内部抽選の抽選態様を変更して、遊技状態が通常状態である場合に前記ボーナスを抽選対象とし、当該ボーナスが入賞したことによって移行するボーナス状態では、当該通常状態とは異なる抽選態様で内部抽選を行い、

前記通常区間から前記有利区間に移行することによっては内部抽選の抽選態様が変更されず、

前記特典付与手段が、

前記通常区間において、遊技状態が前記通常状態である場合に前記特定抽選を実行可能とし、遊技状態が前記ボーナス状態である場合に前記特定抽選を実行せず、

前記有利区間において当該有利区間に滞在していることを報知する有利区間報知を実行しない非報知区間を設定可能とし、前記有利区間が開始されると非報知区間を経てから有利区間報知を実行し、前記有利区間ににおいて前記特別演出状態の終了条件が成立すると、演出状態を待機状態に設定し、当該待機状態を経由して前記特別演出状態に復帰可能としたことを特徴とする遊技機。

10

【請求項 2】

外周面に複数種類の図柄が配列されている複数のリールと、

複数種類の役の当否を決定する内部抽選を行う内部抽選手段と、

前記複数のリールを遊技毎に回転させ、停止操作を契機として、内部抽選の結果に応じた態様で回転中のリールを停止させる制御を行うリール制御手段と、

前記複数のリールが停止した状態で、役毎に予め定められた入賞形態を示す図柄組合せが有効ライン上に表示されていることに基づいて、役が入賞したと判定する入賞判定手段と、

20

演出状態が変動不可能な通常区間と演出状態が変動可能な有利区間とを設定可能とし、通常区間ににおいて特定抽選を行い、特定抽選に当選したことに基づいて有利区間を開始し、有利区間では所定条件下で演出状態を特別演出状態に変動させるとともに、滞在している演出状態に関わらずにクリアカウンタの値を更新し、クリアカウンタの値が所定値に達したことに基づいて有利区間を終了させて所定の初期化処理を行って通常区間に復帰させる特典付与手段と、

前記特別演出状態において所定の役の入賞を補助する入賞補助演出を演出装置に実行させる制御を行う演出制御手段と、を備え、

30

前記有利区間である場合に限って演出状態を前記特別演出状態に設定可能とした遊技機であって、

前記複数種類の役がボーナスを含み、前記内部抽選手段が、

遊技状態に応じて内部抽選の抽選態様を変更して、遊技状態が通常状態である場合に前記ボーナスを抽選対象とし、当該ボーナスが入賞したことによって移行するボーナス状態では、当該通常状態とは異なる抽選態様で内部抽選を行い、

前記通常区間から前記有利区間に移行することによっては内部抽選の抽選態様が変更されず、

前記特典付与手段が、

前記通常区間において、遊技状態が前記通常状態である場合に前記特定抽選を実行可能とし、遊技状態が前記ボーナス状態である場合に前記特定抽選を実行せず、

40

前記有利区間において当該有利区間に滞在していることを報知する有利区間報知を実行しない非報知区間を設定可能とし、前記有利区間が開始されると非報知区間を経てから有利区間報知を実行し、前記有利区間ににおいて前記特別演出状態の終了後に当該特別演出状態の遊技よりも遊技媒体が獲得しにくい遊技を行わせることを特徴とする遊技機。

【発明の詳細な説明】**【技術分野】****【0001】**

50

本発明は、遊技機に関する。

【背景技術】

【0002】

従来から外周面に図柄が配列された複数のリールを備えた遊技機（回胴式遊技機、スロットマシン）が知られている。この種の遊技機は、メダルやパチンコ玉などの遊技媒体に対して一定の遊技価値を付与し、このような遊技媒体を獲得するための遊技を行うものである。また、この種の遊技機は、遊技者の回転開始操作を契機として、内部抽選を行うとともに複数のリールの回転を開始させ、遊技者の停止操作契機として、内部抽選の結果に応じた態様で複数のリールを停止させる制御を行っている。そして、遊技の結果は、複数のリールが停止した状態における入賞判定ライン上に表示された図柄組合せによって判定され、遊技の結果に応じてメダル等の払い出しなどが行われる。10

【0003】

近年では、役の入賞を補助する入賞補助演出を所定条件下で実行することによって、役の入賞確率を変動させ、入賞補助演出が実行可能なAT状態においてメダル等の遊技媒体を獲得しやすくするアシストタイム遊技を行うことができる遊技機が好評を博している（特許文献1、2参照）。

【先行技術文献】

【特許文献】

【0004】

【特許文献1】特開2011-125565号公報20

【特許文献2】特開2011-156165号公報

【発明の概要】

【発明が解決しようとする課題】

【0005】

ところが、アシストタイム遊技を行うことができる遊技機については、年々メダル等の獲得性能が向上していく一方で、一度に大量のメダルを獲得できないようにして射幸性を抑えることが社会的に要請されている。このためアシストタイム遊技を行うことができる遊技機における遊技性の低下が懸念されており、遊技者の関心を惹きつける新たな技術が期待されている。

【0006】

本発明は上記事情に鑑みてなされたものであり、その目的は、射幸性を抑えつつ新たな遊技性を提供して遊技者の関心を惹きつける技術を提供することにある。

【課題を解決するための手段】

【0007】

(1) 本発明は、外周面に複数種類の図柄が配列されている複数のリールと、複数種類の役の当否を決定する内部抽選を行う内部抽選手段と、前記複数のリールを遊技毎に回転させ、停止操作を契機として、内部抽選の結果に応じた態様で回転中のリールを停止させる制御を行うリール制御手段と、前記複数のリールが停止した状態で、役毎に予め定められた入賞形態を示す図柄組合せが有効ライン上に表示されていることに基づいて、役が入賞したと判定する入賞判定手段と、通常区間と有利区間とを設定可能とし、通常区間ににおいて特定抽選を行い、特定抽選に当選している状況で特定図柄組合せが有効ライン上に表示された場合に有利区間を開始し、有利区間では所定条件下でアシストタイム遊技を行わるとともに、クリアカウンタの値を更新し、クリアカウンタの値が所定値に達したことに基づいて有利区間を終了させて所定の初期化処理を行って通常区間に復帰させる特典付与手段と、前記アシストタイム遊技において所定の役の入賞を補助する入賞補助演出を演出装置に実行させる制御を行う演出制御手段と、を備え、前記有利区間である場合に限って前記アシストタイム遊技を実行可能とした遊技機であって、前記特典付与手段が、前記有利区間を開始する契機となった前記特定図柄組合せの種類に応じて前記アシストタイム遊技に關連付いた有利度合いを変化させる処理を行う遊技機に関するものである。40

【0008】

50

本発明では、通常区間と有利区間とを設定可能であって、通常区間において特定抽選を行うことによって有利区間へ移行させるか否かを決定し、有利区間である場合に限ってアシストタイム遊技を実行可能とし、有利区間ではクリアカウンタの値を更新して、クリアカウンタの値が所定値に達したことに基づいて有利区間を終了させつつ所定の初期化処理を行って通常区間に復帰させることによって、有利区間において設計上の獲得期待値を超えて遊技媒体を過剰に獲得できてしまうことを防いで射幸性を抑えている。

【0009】

そして本発明では、特定抽選に当選している状況で特定図柄組合せが有効ライン上に表示された場合に有利区間を開始し、有利区間を開始する契機となった特定図柄組合せの種類に応じてアシストタイム遊技に関連付いた有利度合いを変化させるようにしてあり、有利区間を開始するにあたって有効ライン上に表示された図柄組合せによって遊技者に有利度合いを報知できるため、新たな遊技性を提供して遊技者の関心を惹きつけることができるようになる。10

【0010】

(2) また本発明は、外周面に複数種類の図柄が配列されている複数のリールと、複数種類の役の当否を決定する内部抽選を行う内部抽選手段と、前記複数のリールを遊技毎に回転させ、停止操作を契機として、内部抽選の結果に応じた態様で回転中のリールを停止させる制御を行うリール制御手段と、前記複数のリールが停止した状態で、役毎に予め定められた入賞形態を示す図柄組合せが有効ライン上に表示されていることに基づいて、役が入賞したと判定する入賞判定手段と、通常区間と有利区間とを設定可能とし、通常区間ににおいて特定抽選を行い、特定抽選に当選している状況で特定図柄組合せが有効ライン上に表示された場合に有利区間を開始し、有利区間では所定条件下でアシストタイム遊技を行わせるとともに、クリアカウンタの値を更新し、クリアカウンタの値が所定値に達したことに基づいて有利区間を終了させて所定の初期化処理を行って通常区間に復帰させる特典付与手段と、前記アシストタイム遊技において所定の役の入賞を補助する入賞補助演出を演出装置に実行させる制御を行う演出制御手段と、を備え、前記有利区間である場合に限って前記アシストタイム遊技を実行可能とした遊技機であって、前記特典付与手段が、前記有利区間において前記特定図柄組合せが有効ライン上に表示された場合に、当該特定図柄組合せの種類に応じて前記アシストタイム遊技に関連付いた有利度合いを変化させる処理を行う遊技機に関するものである。20

【0011】

本発明では、通常区間と有利区間とを設定可能であって、通常区間において特定抽選を行うことによって有利区間へ移行させるか否かを決定し、有利区間である場合に限ってアシストタイム遊技を実行可能とし、有利区間ではクリアカウンタの値を更新して、クリアカウンタの値が所定値に達したことに基づいて有利区間を終了させつつ所定の初期化処理を行って通常区間に復帰させることによって、有利区間において設計上の獲得期待値を超えて遊技媒体を過剰に獲得できてしまうことを防いで射幸性を抑えている。30

【0012】

そして本発明では、特定抽選に当選している状況で特定図柄組合せが有効ライン上に表示された場合に有利区間を開始し、有利区間において特定図柄組合せが表示された場合に、表示された特定図柄組合せの種類に応じてアシストタイム遊技に関連付いた有利度合いを変化させるようにしてあり、有利区間において表示された図柄組合せによってその後の有利度合いを変化させることができるので、新たな遊技性を提供して遊技者の関心を惹きつけることができるようになる。40

【図面の簡単な説明】

【0013】

【図1】本発明の実施形態の遊技機の外観構成を示す斜視図である。

【図2】本発明の実施形態の遊技機の機能ブロックを説明する図である。

【図3】本発明の実施形態の遊技機における内部抽選テーブルを説明する図である。

【図4】本発明の実施形態の遊技機における内部抽選テーブルを説明する図である。50

【図5】本発明の実施形態の遊技機における小役の当選態様を説明する図である。

【図6】本発明の実施形態の遊技機におけるリプレイの当選態様を説明する図である。

【図7】本発明の実施形態の遊技機におけるリールの図柄配列を説明する図である。

【図8】本発明の実施形態に係る遊技機におけるトップボタンの押下順序と入賞役との関係を説明する図である。

【図9】本発明の実施形態に係る遊技機におけるトップボタンの押下順序と入賞役との関係を説明する図である。

【図10】本発明の実施形態の遊技機における入賞役と図柄組合せとの関係を説明する図である。

【図11】本発明の実施形態の遊技機における入賞役と図柄組合せとの関係を説明する図である。10

【図12】本発明の実施形態の遊技機における遊技状態およびR T状態の遷移図である。

【図13】本発明の実施形態の遊技機における演出状態の遷移図である。

【図14】本発明の実施形態の遊技機における遊技区間の遷移図である。

【図15】本発明の実施形態の変形例に係る遊技機における演出状態の遷移図である。

【発明を実施するための形態】

【0014】

以下、本発明の実施形態について説明する。なお、以下に説明する実施形態は、特許請求の範囲に記載された本発明の内容を不当に限定するものではない。また本実施形態で説明される構成の全てが、本発明の必須構成要件であるとは限らない。20

【0015】

1. 構成

図1は、本発明の実施形態に係る遊技機の外観構成を示す斜視図である。

【0016】

本実施形態の遊技機は、いわゆるスロットマシンあるいは回胴式遊技機と呼ばれるもので、メダルを遊技媒体として用いた遊技を行う種類の遊技機である。

【0017】

本実施形態の遊技機は、収納箱BX、上部前面扉UD、および下部前面扉DDからなる箱形の筐体内に第1リールR1～第3リールR3（複数のリール）からなるリールユニットが収められている。また筐体内のリールユニットの下部には、メダルの払出装置としてのホッパー（図示省略）が収められている。また本実施形態の遊技機の筐体内には、CPU、ROM（情報記憶媒体の一例）、RAM等を搭載し、遊技機の動作を制御する制御基板も収められている。30

【0018】

図1に示す第1リールR1～第3リールR3は、それぞれ外周面が一定の間隔で21の領域（各領域を「コマ」と称する）に区画されており、各コマに複数種類の図柄のいずれかが配列されている。また第1リールR1～第3リールR3は、ステッピングモータ（リール駆動手段：図示省略）に軸支されており、それぞれステッピングモータの軸周りに回転駆動され、ステッピングモータの駆動パルスのパルス数やパルス幅などを制御することによって、コマ単位（所定の回転角度単位、所定の回転量単位）で停止可能に設けられている。すなわち本実施形態の遊技機では、ステッピングモータが制御基板から供給された駆動パルスに応じて第1リールR1～第3リールR3を回転駆動し、制御基板から駆動パルスの供給が断たれると、ステッピングモータの回転が停止することに伴って第1リールR1～第3リールR3が停止する。40

【0019】

上部前面扉UDと下部前面扉DDとは個別に開閉可能に設けられており、上部前面扉UDには第1リールR1～第3リールR3の回転状態及び停止状態を観察可能にする表示窓DWが設けられている。第1リールR1～第3リールR3の停止状態では、第1リールR1～第3リールR3それぞれの外周面に一定間隔で配列された複数種類の図柄のうち、外周面上に連続して配列されている3つの図柄（上段図柄、中段図柄、下段図柄）を遊技機50

の正面から表示窓 D W を通じて観察できるようになっている。

【 0 0 2 0 】

また本実施形態の遊技機では、表示窓 D W を通じて図柄を観察するための表示位置として、各リールについて上段、中段、下段が設けられており、各リールの表示位置の組合せによって有効ラインが設定される。なお本実施形態の遊技機では、1回の遊技に関して必要となるメダルの数、いわゆる規定投入数が3枚に設定され、規定投入数に相当するメダルが投入されると、第1リール R 1 ~ 第3リール R 3 のそれぞれの中段によって構成される有効ライン L 1 が有効化される。

【 0 0 2 1 】

そして遊技結果は表示窓 D W 内の有効ラインに停止表示された図柄組合せによって判断され、有効ライン上の図柄組合せが予め定められた役に対応した図柄組合せである場合には、その役が入賞したものとしてホッパーユニットからメダルの払い出し等が行われる。

【 0 0 2 2 】

また上部前面扉 U D には、遊技情報表示部 D S および区間表示器 S E C が設けられている。遊技情報表示部 D S は、L E D 、ランプ、7セグメント表示器等からなり、メダルのクレジット数、1回の遊技におけるメダルの払出数あるいは獲得数、ボーナス状態でのメダルの払出数の合計あるいは獲得数の合計等の各種遊技情報が表示される。また区間表示器 S E C は、内蔵される L E D の消灯および点灯によって有利区間に滞在しているか否かを報知するものである。

【 0 0 2 3 】

また上部前面扉 U D には、遊技演出を行うための液晶ディスプレイ L C D が設けられている。この液晶ディスプレイ L C D には、遊技を補助したり、遊技を盛り上げたりするための各種の映像（または画像）が表示される。また本実施形態の遊技機では、上部前面扉 U D や下部前面扉 D D に対して、遊技演出を行うためのスピーカ（図示省略）が複数設けられている。このスピーカからは、遊技を補助したり、遊技を盛り上げたりするための各種の音声が出力される。

【 0 0 2 4 】

また下部前面扉 D D には、各種の操作手段が設けられている。操作手段としては、クレジット（貯留）されたメダルを投入する操作を行うためのベットボタン（投入操作手段）B 0 、第1リール R 1 ~ 第3リール R 3 を回転させて遊技を開始する契機となる操作を行うためのスタートレバー（遊技開始操作手段）S L 、ステッピングモータにより回転駆動されている第1リール R 1 ~ 第3リール R 3 のそれぞれを停止させる契機となる操作を行うためのストップボタン（停止操作手段）B 1 ~ B 3 などが設けられている。

【 0 0 2 5 】

本実施形態の遊技機では、遊技者がメダルをメダル投入口 M I に投入するか、ベットボタン B 0 を押下する操作を行うことで、第1リール R 1 ~ 第3リール R 3 の回転制御を開始することが可能な準備状態にセットされる。そして、遊技者がスタートレバー S L を押下すると、制御基板において第1リール R 1 ~ 第3リール R 3 をステッピングモータの駆動により回転開始させるとともに、乱数値を用いた内部抽選が行われ、第1リール R 1 ~ 第3リール R 3 の回転速度が所定の速度まで上昇したことを条件に、ストップボタン B 1 ~ B 3 の押下操作が許可（有効化）される。

【 0 0 2 6 】

その後、遊技者が任意のタイミングでストップボタン B 1 ~ B 3 を押下していくと、ストップボタン B 1 ~ B 3 のそれぞれに内蔵されているストップスイッチ（停止信号出力手段：例えば、フォトセンサ、導通センサ、圧力センサなど）がオン動作を行い、制御基板に入力されるリール停止信号をオフ状態からオン状態へ変化させる。

【 0 0 2 7 】

また遊技者が任意のタイミングで押下状態にあるストップボタン B 1 ~ B 3 を解放すると、ストップボタン B 1 ~ B 3 それぞれに対応するストップスイッチがオフ動作を行い、制御基板に入力されるリール停止信号をオン状態からオフ状態に変化させる。

10

20

30

40

50

【0028】

そして制御基板は、ストップボタンB1～B3の押下タイミング及び解放タイミングに応じて信号状態が変化するリール停止信号のオフ状態からオン状態への変化に基づいて、内部抽選の結果に応じた停止位置で第1リールR1～第3リールR3を停止させる。

【0029】

また下部前面扉DDの下部には、メダル払い出し口MOとメダル受け皿MPとが設けられており、遊技の結果に応じた枚数のメダルがメダル払い出し口MOからメダル受け皿MPへ払い出されるようになっている。

【0030】

図2は、本実施形態の遊技機の機能ブロック図である。

10

【0031】

本実施形態の遊技機は、遊技制御手段(制御基板)100によって制御される。遊技制御手段100は、メダル投入スイッチ210、ベットスイッチ220、スタートスイッチ230、ストップスイッチ240等の入力手段からの入力信号を受けて、遊技を実行するための各種の演算を行い、演算結果に基づいてリールユニット310、ホッパーユニット320、表示装置330、音響装置340等の出力手段の動作制御を行う。遊技制御手段100の機能は各種のプロセッサ(CPU、DSPなど)、ASIC(ゲートアレイなど)、ROM(情報記憶媒体の一例)、あるいはRAMなどのハードウェアや、ROMなどに予め記憶されている所とのプログラムからなるソフトウェアにより実現される。

【0032】

20

そして遊技制御手段100は、投入受付手段105、乱数発生手段110、内部抽選手段120、リール制御手段130、入賞判定手段140、払出制御手段150、リプレイ処理手段160、遊技状態移行制御手段170、RT制御手段173、特典付与手段175、演出制御手段180、記憶手段190を含む。

【0033】

投入受付手段105は、遊技毎にメダルの投入を受け付けて、規定投入数(3枚)に相当するメダルが投入されたことに基づいて、スタートレバーSL(遊技開始操作手段)に対する遊技開始操作を有効化する処理を行う。なお本実施形態の遊技機では、規定投入数に相当するメダルの投入に基づいて有効化されたスタートレバーSLの最初の押下操作が、遊技開始操作として受け付けられ、第1リールR1～第3リールR3の回転を開始させる契機となっているとともに、内部抽選を実行する契機となっている。

30

【0034】

また本実施形態の遊技機では、メダル投入口MIにメダルが投入されると、メダル投入スイッチ210が作動することに伴って、投入受付手段105が、規定投入数を限度として、投入されたメダルを投入状態に設定する。また本実施形態の遊技機では、遊技機にメダルがクレジットされた状態で、ベットボタンB0が押下されると、ベットスイッチ220が作動することに伴って、投入受付手段105が、規定投入数を限度して、クレジットされたメダルを投入状態に設定する。

【0035】

40

乱数発生手段110は、抽選用の乱数値を発生させる手段である。乱数値は、例えば、インクリメントカウンタ(所定のカウント範囲を循環するように数値をカウントするカウンタ)のカウント値に基づいて発生させることができる。なお本実施形態において「乱数値」には、数学的な意味でランダムに発生する値のみならず、その発生自体は規則的であっても、その取得タイミング等が不規則であるために実質的に乱数として機能しうる値も含まれる。

【0036】

内部抽選手段120は、遊技者がスタートレバーSLに対する遊技開始操作(有効化されたスタートレバーSLへの最初の押下操作)により作動するスタートスイッチ230からのスタート信号に基づいて、役の当否を決定する内部抽選を行う手段であって、抽選テーブル選択処理、乱数判定処理、抽選フラグ設定処理などを行う。

50

【 0 0 3 7 】

抽選テーブル選択処理では、記憶手段 190 のメイン抽選テーブル記憶手段 191 に格納されている複数の内部抽選テーブルのうち、いずれの内部抽選テーブルを用いて内部抽選を行うかを決定する。本実施形態の遊技機では、メイン抽選テーブル記憶手段 191 に、図 3 および図 4 に示すような 6 種類の内部抽選テーブル（内部抽選テーブル 1 ~ 内部抽選テーブル 6 ）が記憶されている。そして各内部抽選テーブルでは、複数の乱数値（例えば、0 ~ 65535 の 65536 個の乱数値）のそれぞれに対して、リプレイ、小役、およびボーナスなどの各種の役やハズレ（不当選）が対応づけられている。

【 0 0 3 8 】

なお本実施形態の遊技機では、小役として、小役 1 ~ 小役 11 が用意されており、小役の当選態様として、打順ベル 1 ~ 打順ベル 9 、共通ベル、スイカ、チェリー、および J A C が設定されている。10

【 0 0 3 9 】

各小役の当選態様について図 5 を参照しながら具体的に説明すると、打順ベル 1 ~ 打順ベル 9 は、2 種類 ~ 4 種類の 1 枚小役（配当が 1 枚の小役）と、1 種類の 8 枚小役（配当が 8 枚の小役：特定小役の一例）とが重複して当選することを示しており、共通ベルは、1 種類の 13 枚小役（配当が 13 枚の小役）と、1 種類の 14 枚小役（配当が 14 枚の小役）とが重複して当選することを示している。

【 0 0 4 0 】

またスイカは、1 種類の 3 枚小役（配当が 3 枚の小役）が単独で当選することを示しており、チェリーは、1 種類の 2 枚小役（配当が 2 枚の小役）が単独で当選することを示しており、J A C は、5 種類の 1 枚小役と、1 種類の 2 枚小役と、1 種類の 3 枚小役と、1 種類の 8 枚小役と、1 種類の 13 枚小役と、1 種類の 14 枚小役と、1 種類の 15 枚小役（配当が 15 枚の小役）とが重複して当選することを示している。20

【 0 0 4 1 】

また本実施形態の遊技機では、リプレイとして、リプレイ 1 ~ リプレイ 6 が用意されており、リプレイの当選態様として、通常リプレイと、打順リプレイ 1 ~ 打順リプレイ 12 とが設定されている。

【 0 0 4 2 】

各リプレイの当選態様について図 6 を参照しながら具体的に説明すると、通常リプレイは、リプレイ 1 が単独で当選することを示しており、打順リプレイ 1 ~ 打順リプレイ 6 は、リプレイ 1 およびリプレイ 2 を含む 2 種類 ~ 5 種類のリプレイが重複して当選することを示しており、打順リプレイ 7 ~ 打順リプレイ 12 は、リプレイ 1 およびリプレイ 3 を含む 2 種類 ~ 5 種類のリプレイが重複して当選することを示している。30

【 0 0 4 3 】

また本実施形態の遊技機では、内部抽選テーブル 1 ~ 内部抽選テーブル 5 において小役の当選確率が同一であって、内部抽選テーブル 1 = 内部抽選テーブル 2 = 内部抽選テーブル 5 < 内部抽選テーブル 3 < 内部抽選テーブル 4 の順にリプレイの当選確率が高くなっている。また内部抽選テーブル 6 では、内部抽選テーブル 1 ~ 内部抽選テーブル 5 よりも高確率で小役が当選し、リプレイが抽選対象とはなっていない。40

【 0 0 4 4 】

また本実施形態の遊技機では、ボーナスとしてビッグボーナス（B B : 第 1 ボーナスの一例）とレギュラーボーナス（R B : 第 2 ボーナスの一例）とが用意されており、内部抽選テーブル 1 ~ 内部抽選テーブル 4 では、ビッグボーナス（B B ）およびレギュラーボーナス（R B ）がいずれも抽選対象として設定されているが、内部抽選テーブル 5 および内部抽選テーブル 6 では、ビッグボーナス（B B ）およびレギュラーボーナス（R B ）がいずれも抽選対象から除外されている。

【 0 0 4 5 】

また本実施形態の遊技機では、遊技状態として、通常状態、R B 成立状態（第 2 ボーナス成立状態の一例）、B B 成立状態（第 1 ボーナス成立状態の一例）、R B 状態（第 2 ボ50

ーナス状態の一例)、およびB B状態(第1ボーナス状態の一例)が設定可能とされ、R T状態(リプレイの抽選状態)として、非R T状態、R T 1状態、R T 2状態、およびR T 3状態が設定可能とされ、抽選テーブル選択処理では、遊技状態およびR T状態に応じて内部抽選テーブル1~内部抽選テーブル6のいずれか1つを内部抽選で使用する内部抽選テーブルとして選択する。

【0046】

乱数判定処理では、スタートスイッチ230からのスタート信号に基づいて、遊技毎に乱数発生手段110から乱数値(抽選用乱数)を取得し、取得した乱数値について記憶手段190のメイン抽選テーブル記憶手段191に記憶されている内部抽選テーブルを参照して役に当選したか否かを判定する。

10

【0047】

抽選フラグ設定処理では、乱数判定処理の結果に基づいて、当選したと判定された役に対応する抽選フラグを非当選状態(第1のフラグ状態、オフ状態)から当選状態(第2のフラグ状態、オン状態)に設定する。本実施形態の遊技機では、2種類以上の役が重複して当選した場合には、重複して当選した2種類以上の役のそれぞれに対応する抽選フラグが当選状態に設定される。なお抽選フラグの設定情報は、記憶手段190の抽選フラグ記憶手段192に格納される。

【0048】

また本実施形態の遊技機では、入賞するまで次回以降の遊技に当選状態を持ち越し可能な抽選フラグ(持越可能フラグ)と、入賞の如何に関わらず次回以降の遊技に当選状態を持ち越さずに非当選状態にリセットされる抽選フラグ(持越不可フラグ)とが用意されている。前者の持越可能フラグが対応づけられる役としては、ボーナスがあり、小役およびリプレイは後者の持越不可フラグに対応づけられている。すなわち抽選フラグ設定処理では、例えば、内部抽選でビッグボーナス(B B)に当選すると、ビッグボーナス(B B)の抽選フラグの当選状態を、ビッグボーナス(B B)が入賞するまで持ち越す処理を行う。このとき内部抽選手段120は、ビッグボーナス(B B)の抽選フラグの当選状態が持ち越されている遊技でも、小役およびリプレイについての当否を決定する内部抽選を行っている。なおレギュラーボーナス(R B)が当選した場合においても同様である。すなわち抽選フラグ設定処理では、ボーナスの抽選フラグの当選状態が持ち越されている遊技において、小役やリプレイが当選した場合には、既に当選しているボーナスの抽選フラグと内部抽選で当選した小役やリプレイの抽選フラグとからなる2種類以上の役に対応する抽選フラグを当選状態に設定する。

20

【0049】

リール制御手段130は、遊技者がスタートレバーSLへの遊技開始操作により作動するスタートスイッチ230からのスタート信号に基づいて、ステッピングモータにより第1リールR1~第3リールR3の回転駆動を開始し、第1リールR1~第3リールR3が所定速度(約80rpm:1分間あたり約80回転となる回転速度)で定常回転しているリールに対応するストップボタンB1~B3(停止操作手段)を押下することによる停止操作を有効化する制御を行うとともに、ステッピングモータにより回転駆動されている第1リールR1~第3リールR3を抽選フラグの設定状態(内部抽選の結果)に応じた態様で停止させる制御を行う。

30

【0050】

そしてリール制御手段130は、ストップボタンB1~B3に対する停止操作が有効化された状態において、遊技者がストップボタンB1~B3を押下することによりストップスイッチ240が作動すると、ストップスイッチ240からのリール停止信号に基づいて、リールユニット310のステッピングモータへの駆動パルス(モータ駆動信号)の供給を停止することにより、第1リールR1~第3リールR3の各リールを停止させる制御を行う。

40

【0051】

すなわちリール制御手段130は、ストップボタンB1~B3の各ボタンが押下される

50

毎に、第1リールR1～第3リールR3のうち押下されたボタンに対応するリールの停止位置を決定して、決定された停止位置でリールを停止させる制御を行っている。なお本実施形態の遊技機では、ストップボタンB1を押下することが第1リールR1を停止させるための操作に対応し、ストップボタンB2を押下することが第2リールR2を停止させるための操作に対応し、ストップボタンB3を押下することが第3リールR3を停止させるための操作に対応する。すなわち本実施形態の遊技機では、ストップボタンB1～B3の押下順序が変化すると、第1リールR1～第3リールR3の停止順序が変化する。

【0052】

また本実施形態の遊技機では、第1リールR1～第3リールR3について、ストップボタンB1～B3が押下された時点から190ms以内に、押下されたストップボタンに対応する回転中のリールが停止するようになっている。そしてストップボタンの押下時点から190ms以内に回転中のリールを停止させる場合には、回転している各リールの停止位置は、ストップボタンの押下時点からリールが停止するまでに要するコマ数が0コマ～4コマの範囲（所定の引き込み範囲）で決定される。そして、リール制御手段130は、ストップボタンB1～B3のうち押下操作が行われたストップボタンに対応する回転中のリールの外周面上において、内部抽選で当選した役に対応する図柄が、ストップボタンに対する押下操作が行われた時点で有効ライン上の表示位置に対して0コマ～4コマの範囲内に位置する場合に、抽選フラグが当選状態に設定されている役に対応する図柄が有効ライン上の表示位置に表示されるように、押下操作が行われたストップボタンに対応する回転中のリールを停止させる制御を行っている。10

【0053】

そして本実施形態では、図7に示すように、リールユニット310を構成する第1リールR1～第3リールR3の外周面に対して、赤7図柄「赤7」、白7図柄「白7」、黒7図柄「黒7」、BAR図柄「BAR」、リプレイ図柄「RP」、ダミー図柄「DUM」、ベル図柄「BL」、スイカ図柄A「WMA」、スイカ図柄B「WMB」、およびチェリー図柄「CH」が配列されており、押下検出位置から4コマ以内に存在する図柄を有効ライン上に引き込む場合には、各リールの外周面において4コマ以内の間隔で配列されている図柄について、押下検出位置に関わらずに、有効ライン上に表示させることができるようになっている。20

【0054】

またリール制御手段130は、優先度により回転中のリールの停止位置を求める処理（ロジック演算）と、記憶手段190の停止制御テーブル記憶手段193に記憶されている停止制御テーブルを参照して回転中のリールの停止位置を決定する処理（テーブル参照処理）を行っている。30

【0055】

まずロジック演算では、役毎に定められた優先順位データに従ってストップスイッチ240の作動時点（ストップボタンの押下が検出された時点）におけるリールの位置である押下検出位置から0コマ～4コマの範囲内（または0コマ～1コマの範囲内）に存在する5コマ分（または2コマ分）の停止位置の候補に対して優先度を求める。そして各停止位置の候補の優先度のうち最も優先度の高い停止位置の候補を実際の停止位置として決定する。ただしロジック演算処理では、内部抽選の結果や押下検出位置などに応じて複数の停止位置の候補に対して同一の優先度が求まる場合があり、最も優先度の高い停止位置の候補が複数となった場合には、後述するテーブル参照処理によって実際の停止位置を決定する。40

【0056】

特に本実施形態の遊技機では、「リプレイ>ボーナス」かつ「小役>ボーナス」の順序で優先順位が定められており、ロジック演算では、2種類以上の役に関する抽選フラグが内部当選状態に設定されている場合には、各役に対応付けられた優先順位に従って、優先順位の高い役の入賞形態を構成する図柄を含む停止位置の候補について優先順位が低い役の入賞形態を構成する図柄を含む停止位置の候補よりも優先度が高くなるように優先度を50

求める。

【0057】

なお本実施形態の遊技機では、内部抽選で複数種類の小役が当選した場合における停止位置の候補についての優先度は、有効ライン上に表示可能な入賞形態を示す図柄組合せの個数に応じて優先度を求める場合と、小役について予め定められている配当に基づくメダルの払出数に応じて優先度を求める場合とが存在し、有効ライン上に表示可能な入賞形態を示す図柄組合せの個数に応じて停止位置の候補についての優先度を求める場合には、有効ライン上に表示可能な入賞形態を示す図柄組合せの個数が多くなる停止位置ほど優先度が高くなるように各停止位置の候補についての優先度を求め、メダルの払出数に応じて停止位置の候補についての優先度を求める場合には、有効ライン上の表示位置に表示されている図柄に対応する小役の配当に基づくメダルの払出数が多くなる停止位置（配当が多い小役を入賞させることができる停止位置）ほど優先順位が高くなるように各停止位置の候補についての優先度を求める。ただし、メダルの払出数に応じて停止位置の候補についての優先度を求める場合に、配当が同一の小役が重複して当選した場合には、それぞれの小役を入賞させることができるとする停止位置の候補についての優先度はそれぞれ同一のものとして扱われ、有効ライン上に表示可能な入賞形態を示す図柄組合せの個数に応じて停止位置の候補についての優先度を求める場合に、有効ライン上に表示可能な入賞形態を示す図柄組合せの個数が同数となる停止位置の候補についての優先度はそれ同一のものとして扱われる。

【0058】

そして本実施形態では、打順ベルが当選した場合に、ストップボタンB1～B3の押下順序に応じたロジック演算が行われる。具体的には、打順ベル1～打順ベル9のそれぞれに対して正解打順が設定されており、正解打順とは異なる押下順序が不正解打順として扱われる。そして、いずれかの打順ベルが当選した場合に、最初に押下されたストップボタンの種類が正解打順に対応している場合には正解打順であることが確定し、メダルの払出数が最も多くなる停止位置の候補の優先度が最も高くなるように優先度が求められる。また、いずれかの打順ベルが当選した場合に、不正解打順でストップボタンB1～B3が押下されると、各リールを停止させる段階で最も多くの入賞形態を構成する図柄組合せを表示させることができるとする停止位置の候補の優先度が最も高くなるように優先度が求められる。

【0059】

そして本実施形態では、いずれかの打順ベルが当選した場合に、正解打順でストップボタンB1～B3が押下されると、8枚小役（小役6）を入賞させることができるとする停止位置の候補の優先度が最も高くなるようにロジック演算が行われ、不正解打順でストップボタンB1～B3が押下されると、1枚小役（小役1～小役5）を入賞させることができるとする停止位置の候補の優先度が最も高くなるようにロジック演算が行われる。

【0060】

なお遊技状態がB B成立状態やR B成立状態である場合には、ボーナスよりも小役の入賞が優先されるため、打順ベルが当選して正解打順に沿って停止操作が行われれば8枚小役が入賞し、不正解打順に沿って停止操作が行われても1枚小役の入賞形態を構成する図柄を有効ライン上に表示する際にビッグボーナス（B B）やレギュラーボーナス（R B）の入賞が回避されるように優先度が求められる。ただし、スイカやチェリーの当選時においては、スイカに対応する3枚小役やチェリーに対応する2枚小役の入賞形態を構成する図柄を有効ライン上に表示させることができずにビッグボーナス（B B）やレギュラーボーナス（R B）の入賞形態を構成する図柄を有効ライン上に表示させることができる押下検出位置が存在しているため、B B成立状態やR B成立状態においてスイカやチェリーが当選した場合には小役が入賞せずにビッグボーナス（B B）やレギュラーボーナス（R B）が入賞する場合がある。

【0061】

またB B成立状態やR B成立状態での打順ベルの当選時には押下順序に応じて優先され

10

20

30

40

50

る小役の種類が変わるように停止位置を決定するようにしてもよく、例えば、B B 成立状態やR B 成立状態での打順ベルの当選時には押下順序に関わらずに有効ライン上に表示可能な入賞形態を示す図柄組合せの個数が最大となる停止位置となるように優先度を求めて、8枚小役の入賞よりも1枚小役の入賞を優先して停止位置を決定するようにしてもよい。このようにB B 成立状態やR B 成立状態で8枚小役よりも1枚小役を優先的に入賞させるようにすれば、B B 成立状態やR B 成立状態でのメダルの獲得期待値をより低く抑えられるため、B B 成立状態やR B 成立状態でビッグボーナス（B B）やレギュラーボーナス（R B）をできるだけ早く入賞させる動機付けを遊技者に与えることができる。

【0062】

また本実施形態では、共通ベルやJ A Cが当選した場合には、メダルの払出数に応じて優先度を求めるようにロジック演算が行われ、共通ベルの当選時においては、いずれの押下順序で停止操作が行われても14枚小役（小役10）を入賞させることができる停止位置の候補の優先度が最も高くなるようにロジック演算が行われ、J A Cの当選時においては、いずれの押下順序で停止操作が行われても15枚小役（小役11）を入賞させることができる停止位置の候補の優先度が最も高くなるようにロジック演算が行われる。10

【0063】

またロジック演算では、いわゆる引き込み処理と跳飛ばし処理とをリールの停止位置の候補を求める処理として行っている。引き込み処理とは、抽選フラグが当選状態に設定された役を可能な限り入賞させることができるようにリールの停止位置の候補についての優先度を求める処理である。一方跳飛ばし処理とは、抽選フラグが非当選状態に設定された役を入賞させることができないようにリールの停止位置の候補についての優先度を求める処理である。このようにリール制御手段130は、抽選フラグが当選状態に設定された役の図柄を入賞の形態で停止可能にし、一方で抽選フラグが非当選状態に設定された役の図柄が入賞の形態で停止しないようにリールの停止位置の候補を求めるロジック演算を行っている。20

【0064】

また本実施形態の遊技機では、リールユニット310がフォトセンサからなるリールインデックス315を備えており、リール制御手段130は、リールが1回転する毎にリールインデックス315で検出される基準位置信号に基づいて、リールの基準位置（リールインデックス315によって検出されるコマ）からの回転角度（ステッピングモータの回転軸の回転ステップ数）を求ることによって、現在のリールの回転状態を監視することができるようになっている。すなわちリール制御手段130は、ストップスイッチ240の作動時におけるリールの位置を、リールの基準位置からの回転角度を求ることにより得ることができる。30

【0065】

テーブル参照処理では、ロジック演算を行った結果、最も優先度の高い停止位置の候補が複数得られた場合に、いずれの位置を停止位置とするかを、記憶手段190の停止制御テーブル記憶手段193に記憶されている停止制御テーブルを参照して決定する。

【0066】

ここで停止制御テーブルでは、抽選フラグの設定状態に応じて、ストップスイッチ240の作動時点（ストップボタンの押下が検出された時点）におけるリールの位置である押下検出位置と実際の停止位置との対応関係が設定されている。なお停止制御テーブルでは、抽選フラグの設定状態に応じて、押下検出位置と、押下検出位置から実際の停止位置までの回転量を示す滑りコマ数との対応関係が設定されていてもよい。40

【0067】

そして内部抽選で打順ベル1～打順ベル9のいずれかが当選した場合に参照される停止制御テーブルでは、図8に示すように、それぞれの打順ベルに対して正解打順（特定の操作順序の一例）が設定されており、正解打順と異なる押下順序は不正解打順として扱われる。

【0068】

50

20

30

40

50

そして本実施形態では、図8に示すように、打順ベル1～打順ベル9のいずれかが当選した場合に、正解打順でストップボタンB1～B3が押下されると、8枚小役が入賞するように押下検出位置に対する停止位置が設定されており、不正解打順でストップボタンB1～B3が押下されると、1枚小役のいずれかが入賞する場合と、いずれの小役も入賞せずにR T変動ランクを示す図柄組合せが有効ライン上に表示される場合とが存在するよう押下検出位置に対する停止位置が設定されている。

【0069】

なおBB成立状態やRB成立状態で打順ベルが当選した場合でも、ボーナスよりも小役の入賞を優先しているため、正解打順では8枚小役が入賞し、不正解打順では1枚小役をする場合といずれの役も入賞せずにRT変動ランクを示す図柄組合せが有効ライン上に表示される場合とが存在するよう押下検出位置に対する停止位置が設定されている。なお本実施形態では、BB成立状態やRB成立状態における打順ベルの当選時において最初の停止操作が行われた時点で必ずいずれかの小役の入賞形態を構成する図柄を有効ライン上に表示させるようにすることでビッグボーナス(BB)やレギュラーボーナス(RB)の入賞が回避されるようになっているため、打順ベルに含まれる8枚小役および1枚小役のいずれも入賞しない場合であってもビッグボーナス(BB)やレギュラーボーナス(RB)が入賞することはない。

【0070】

また本実施形態では、共通ベルやJACが当選した場合に参照される停止制御テーブルでは、共通ベルの当選時においては、いずれの押下順序で停止操作が行われても14枚小役が入賞するように押下検出位置に対する停止位置が設定されており、JACの当選時においては、いずれの押下順序で停止操作が行われても15枚小役が入賞するように押下検出位置に対する停止位置が設定されている。

【0071】

また本実施形態では、打順リプレイ1～打順リプレイ12のいずれかが当選した場合に参照される停止制御テーブルでは、図9に示すように、それぞれの打順リプレイに対して正解打順が設定されており、正解打順と異なる押下順序は不正解打順として扱われる。

【0072】

そして本実施形態では、図9に示すように、打順リプレイ1～打順リプレイ6のいずれかが当選した場合に、正解打順でストップボタンB1～B3が押下されると、リプレイ2が入賞するように押下検出位置に対する停止位置が設定されており、不正解打順でストップボタンB1～B3が押下されると、リプレイ1が入賞するように押下検出位置に対する停止位置が設定されている。

【0073】

また本実施形態では、図9に示すように、打順リプレイ7～打順リプレイ12のいずれかが当選した場合に、正解打順でストップボタンB1～B3が押下されると、リプレイ3が入賞するように押下検出位置に対する停止位置が設定されており、不正解打順でストップボタンB1～B3が押下されると、リプレイ1が入賞するように押下検出位置に対する停止位置が設定されている。

【0074】

入賞判定手段140は、第1リールR1～第3リールR3の停止態様に基づいて、役が入賞したか否かを判定する入賞判定処理を行う。具体的には、記憶手段190の入賞判定テーブル記憶手段194に記憶されている入賞判定テーブルを参照しながら、第1リールR1～第3リールR3の全てが停止した時点で有効ライン上に表示されている図柄組合せが、予め定められた役の入賞の形態であるか否かなどを判定する。そして、各リールが停止した状態における有効ライン上に表示された図柄組合せによって、図10および図11に示すように、ビッグボーナス(BB)、レギュラーボーナス(RB)、リプレイ1～リプレイ6、小役1～小役11の入賞の有無やRT変動ランクの表示の有無が判定できるように入賞判定テーブルが用意されている。

【0075】

10

20

30

40

50

そして本実施形態の遊技機では、入賞判定手段 140 の判定結果に基づいて、役が入賞した場合に入賞時処理が実行される。入賞時処理としては、例えば、小役が入賞した場合には払出制御手段 150 によってメダルの払出制御処理が行われ、リプレイが入賞した場合にはリプレイ処理手段 160 によってリプレイ処理が行われ、ボーナスが入賞した場合には遊技状態移行制御手段 170 によって遊技状態を移行させる遊技状態移行制御処理が行われる。また全てのリールが停止している状態で有効ライン上に所定の図柄組合せが表示されている場合には、表示された図柄組合せに応じて RT 制御手段 173 によって RT 状態を変動させる制御が行われる。

【 0076 】

払出制御手段 150 は、遊技結果に応じたメダルの払い出しに関する払出制御処理を行う。具体的には、小役が入賞した場合に、役毎に予め定められている配当に基づいて遊技におけるメダルの払出数を決定し、決定された払出数に相当するメダルを、ホッパーエニット 320（払出装置）に払い出させる制御を行う。10

【 0077 】

ホッパーエニット 320 は、払出制御手段 150 によって指示された払出数のメダルを払い出す動作を行う。ホッパーエニット 320 には、メダルを 1 枚払い出す毎に作動する払出メダル検出スイッチ 325 が備えられており、払出制御手段 150 は、払出メダル検出スイッチ 325 からの入力信号に基づいてホッパーエニット 320 から実際に払い出されたメダルの数を管理することができるよう構成されている。

【 0078 】

なおメダルのクレジット（内部貯留）が許可されている場合には、ホッパーエニット 320 によって実際にメダルの払い出しを行う代わりに、記憶手段 190 のクレジット記憶領域（図示省略）に記憶されているクレジット数（クレジットされたメダルの数）に対して払出数を加算するクレジット加算処理を行って仮想的にメダルを払い出す処理を行う。20

【 0079 】

リプレイ処理手段 160 は、リプレイが入賞した場合に、次回の遊技に関して遊技者の所有するメダルの投入を要さずに前回の遊技と同じ準備状態に設定するリプレイ処理（再遊技処理）を行う。すなわち本実施形態の遊技機では、リプレイが入賞した場合には、前回の遊技と同じ枚数分のメダルを遊技者の手持ちのメダル（クレジットメダルを含む）を使わずに自動的に投入する自動投入処理が行われ、前回の遊技と同じ有効ラインを設定した状態で次回のスタートレバーボタン S L に対する遊技開始操作を待機する。30

【 0080 】

遊技状態移行制御手段 170 は、図 12 (A) に示すように、通常状態、RB 成立状態、BB 成立状態、RB 状態、および BB 状態の間で遊技状態を移行させる遊技状態移行制御処理を行う。遊技状態の移行条件は、1 の条件が定められていてもよいし、複数の条件が定められていてもよい。複数の条件が定められている場合には、複数の予め定められた条件のうち 1 の条件が成立したこと、あるいは複数の予め定められた条件の全てが成立したことに基づいて、遊技状態を別の遊技状態へ移行させることができる。

【 0081 】

通常状態は、複数種類の遊技状態の中で初期状態に相当する遊技状態で、通常状態からは BB 成立状態および RB 成立状態への移行が可能となっている。具体的には、通常状態においてビッグボーナス（BB）が当選した場合には BB 成立状態へ移行し、通常状態においてレギュラーボーナス（RB）が当選した場合には RB 成立状態へ移行する。また通常状態では、図 3 および図 4 に示す内部抽選テーブル 1 ~ 内部抽選テーブル 6 のうち、ビッグボーナス（BB）およびレギュラーボーナス（RB）がいずれも抽選対象に設定されている内部抽選テーブル 1 ~ 内部抽選テーブル 4 のいずれかを RT 状態に応じて参照して内部抽選が行われる。40

【 0082 】

BB 成立状態は、内部抽選でビッグボーナス（BB）に当選したことを契機として移行する遊技状態である。BB 成立状態では、図 3 および図 4 に示す内部抽選テーブル 1 ~ 内50

部抽選テーブル 6 のうち、通常状態と同じ確率で小役の当否が決定され、ビッグボーナス（B B）およびレギュラーボーナス（R B）がいずれも抽選対象から除外され、リプレイの当選確率が約 1 / 7 . 3 に設定された内部抽選テーブル 5 を参照した内部抽選が行われる。

【 0 0 8 3 】

また B B 成立状態では、ビッグボーナス（B B）が入賞するまでビッグボーナス（B B）に対応する抽選フラグが当選状態に維持されたまま小役およびリプレイの当否が決定され、ビッグボーナス（B B）の入賞形態を示す図柄組合せが有効ライン上に表示されると、遊技状態移行制御手段 170 は、ビッグボーナス（B B）の入賞に基づいて遊技状態を B B 成立状態から B B 状態へ移行させる。 10

【 0 0 8 4 】

R B 成立状態は、内部抽選でレギュラーボーナス（R B）に当選したことを契機として移行する遊技状態である。R B 成立状態では、図 3 および図 4 に示す内部抽選テーブル 1 ~ 内部抽選テーブル 6 のうち、通常状態と同じ確率で小役の当否が決定され、ビッグボーナス（B B）およびレギュラーボーナス（R B）がいずれも抽選対象から除外され、リプレイの当選確率が約 1 / 7 . 3 に設定された内部抽選テーブル 5 を参照した内部抽選が行われる。

【 0 0 8 5 】

また R B 成立状態では、レギュラーボーナス（R B）が入賞するまでレギュラーボーナス（R B）に対応する抽選フラグが当選状態に維持されたまま小役およびリプレイの当否が決定され、レギュラーボーナス（R B）の入賞形態を示す図柄組合せが有効ライン上に表示されると、遊技状態移行制御手段 170 は、レギュラーボーナス（R B）の入賞に基づいて遊技状態を R B 成立状態から R B 状態へ移行させる。 20

【 0 0 8 6 】

B B 状態は、ビッグボーナス（B B）の入賞形態を示す図柄組合せが有効ライン上に表示されたことを契機として移行する遊技状態である。B B 状態では、図 3 および図 4 に示す内部抽選テーブル 1 ~ 内部抽選テーブル 6 のうち、小役の当選確率が内部抽選テーブル 1 ~ 内部抽選テーブル 5 よりも高く設定され、リプレイが抽選対象から除外された内部抽選テーブル 6 を参照した内部抽選が行われる。すなわち B B 状態では、通常状態よりも小役が頻繁に当選するようになっている点で、通常状態よりも遊技者に有利な遊技状態となっている。 30

【 0 0 8 7 】

また B B 状態では、B B 状態でのボーナス遊技によって払い出されたメダルの合計数により終了条件が成立したか否かを判断し、予め定められた終了予定払出手数（例えば、300 枚）を超えるメダルが払い出されると、遊技状態移行制御手段 170 は、B B 状態を終了させて、遊技状態を通常状態へ復帰させる。

【 0 0 8 8 】

R B 状態は、レギュラーボーナス（R B）の入賞形態を示す図柄組合せが有効ライン上に表示されたことを契機として移行する遊技状態である。R B 状態では、図 3 および図 4 に示す内部抽選テーブル 1 ~ 内部抽選テーブル 6 のうち、小役の当選確率が内部抽選テーブル 1 ~ 内部抽選テーブル 5 よりも高く設定され、リプレイが抽選対象から除外された内部抽選テーブル 6 を参照した内部抽選が行われる。すなわち R B 状態では、通常状態よりも小役が頻繁に当選するようになっている点で、通常状態よりも遊技者に有利な遊技状態となっている。 40

【 0 0 8 9 】

また R B 状態では、R B 状態でのボーナス遊技によって払い出されたメダルの合計数により終了条件が成立したか否かを判断し、予め定められた終了予定払出手数（例えば、150 枚）を超えるメダルが払い出されると、遊技状態移行制御手段 170 は、R B 状態を終了させて、遊技状態を通常状態へ復帰させる。

【 0 0 9 0 】

10

20

30

40

50

R T 制御手段 173 は、図 12 (B) に示すように、非 R T 状態（非リプレイタイム状態）、R T 1 状態（第 1 リプレイタイム状態）、R T 2 状態（第 2 リプレイタイム状態）、および R T 3 状態（第 3 リプレイタイム状態）の間で R T 状態を移行させる R T 移行制御処理を行う。本実施形態では、R T 状態に応じてリプレイの抽選態様が異なり、具体的には、リプレイの当選確率、抽選対象となるリプレイの種類、および重複して当選するリプレイの組合せの少なくとも 1 つが異なっている。R T 状態の移行条件は、1 の条件が定められていてもよいし、複数の条件が定められていてもよい。複数の条件が定められている場合には、複数の予め定められた条件のうち 1 の条件が成立したこと、あるいは複数の予め定められた条件の全てが成立したことに基づいて、R T 状態を別の R T 状態へ移行させることができる。

10

【0091】

非 R T 状態は、複数種類の R T 状態の中で初期状態に相当する R T 状態で、非 R T 状態からは R T 1 状態への移行が可能となっている。具体的には、非 R T 状態において R T 変動ブランクをしめす図柄組合せが有効ライン上に表示された場合には R T 1 状態へ移行する。また非 R T 状態では、図 3 および図 4 に示す内部抽選テーブル 1 ~ 内部抽選テーブル 6 のうち、リプレイの当選態様として通常リプレイ 1 ~ 通常リプレイ 3 が設定され、リプレイの当選確率が約 1 / 7 . 3 に設定されている内部抽選テーブル 1 を参照した内部抽選が行われる。なお本実施形態では、B B 状態または R B 状態の終了に伴って遊技状態が通常状態に復帰する際に非 R T 状態に設定され、また遊技状態が通常状態である場合に非 R T 状態以外の R T 状態において 1 枚小役が入賞すると R T 状態が非 R T 状態に移行するようになっている。

20

【0092】

R T 1 状態は、R T 変動ブランクを示す図柄組合せが有効ライン上に表示されたことを契機として移行する R T 状態であって、R T 1 状態からは R T 2 状態および非 R T 状態への移行が可能となっている。具体的には、R T 1 状態においてリプレイ 2 の入賞形態を示す図柄組合せが有効ライン上に表示された場合（リプレイ 2 が入賞した場合）には R T 2 状態へ移行し、R T 1 状態において 1 枚小役の入賞形態を示す図柄組合せが有効ライン上に表示された場合（1 枚小役が入賞した場合）には非 R T 状態へ移行する。また R T 1 状態では、図 3 および図 4 に示す内部抽選テーブル 1 ~ 内部抽選テーブル 6 のうち、リプレイの当選態様として打順リプレイ 1 ~ 打順リプレイ 6 が設定され、リプレイの当選確率が約 1 / 7 . 3 に設定されている内部抽選テーブル 2 を参照した内部抽選が行われる。

30

【0093】

R T 2 状態は、リプレイ 2 の入賞形態を示す図柄組合せが有効ライン上に表示されたことを契機として移行する R T 状態であって、R T 2 状態からは R T 3 状態、非 R T 状態、および R T 1 状態への移行が可能となっている。具体的には、R T 2 状態においてリプレイ 3 の入賞形態を示す図柄組合せが有効ライン上に表示された場合（リプレイ 3 が入賞した場合）には R T 3 状態へ移行し、R T 2 状態において 1 枚小役の入賞形態を示す図柄組合せが有効ライン上に表示された場合（1 枚小役が入賞した場合）には非 R T 状態へ移行し、R T 2 状態において R T 変動ブランクをしめす図柄組合せが有効ライン上に表示された場合には R T 1 状態へ移行する。また R T 2 状態では、図 3 および図 4 に示す内部抽選テーブル 1 ~ 内部抽選テーブル 6 のうち、リプレイの当選態様として打順リプレイ 7 ~ 打順リプレイ 12 が設定され、リプレイの当選確率が約 1 / 2 . 5 に設定されている内部抽選テーブル 3 を参照した内部抽選が行われる。

40

【0094】

R T 3 状態は、リプレイ 3 の入賞形態を示す図柄組合せが有効ライン上に表示されたことを契機として移行する R T 状態であって、R T 3 状態からは非 R T 状態および R T 1 状態への移行が可能となっている。具体的には、R T 3 状態において 1 枚小役の入賞形態を示す図柄組合せが有効ライン上に表示された場合（1 枚小役が入賞した場合）には非 R T 状態へ移行し、R T 3 状態において R T 変動ブランクをしめす図柄組合せが有効ライン上に表示された場合には R T 1 状態へ移行する。また R T 3 状態では、図 3 および図 4 に示

50

す内部抽選テーブル1～内部抽選テーブル6のうち、リプレイの当選態様として通常リプレイ1～通常リプレイ3が設定され、リプレイの当選確率が約1/2.0に設定されている内部抽選テーブル4を参照した内部抽選が行われる。なお通常状態においてRT3状態に滞在している場合に参照される内部抽選テーブル4では内部抽選の結果がハズレとなることはないように役と乱数値との対応関係が設定されている。

【0095】

特典付与手段175は、図13に示すように、非AT状態、AT準備状態、AT状態、およびAT終了待機状態を含む複数種類の演出状態の間で演出状態を変化させており、所定条件下で演出状態をAT状態（アシストタイム状態）に設定し、AT終了判定カウンタ195の値に基づいてAT状態の終了条件の成否を判定して、AT状態の終了条件の成立に伴いAT状態を終了させる制御を行う。本実施形態では、AT準備状態やAT状態に滞在している場合には、演出制御手段180によって、打順ベルの当選時に正解打順を報知することにより8枚小役（小役6：所定の役の一例）の入賞を補助する入賞補助演出が行われ、非AT状態に滞在している遊技よりもメダルが獲得しやすいアシストタイム遊技を行うことができるようになっている。

10

【0096】

また特典付与手段175は、図14に示すように、通常区間、内部中待機区間、および有利区間を設定可能とし、通常区間では演出状態を非AT状態に固定してAT抽選を行い、AT抽選に当選したことによって有利区間を開始して有利区間であることを条件に演出状態をAT状態に設定可能としている。そして特典付与手段175は、通常区間の遊技において、遊技状態が通常状態である場合に、内部抽選でボーナスを含む当選態様が得られたことに基づいてAT抽選（特定抽選の一例）を行う。特に本実施形態では、ボーナスを含む当選態様として、ビッグボーナス（BB）が当選する当選態様と、レギュラーボーナス（RB）が当選する当選態様との2種類が存在し、これらの当選態様のいずれかが得られた場合にAT抽選が行われる。このため、遊技状態がBB成立状態である場合、遊技状態がBB状態である場合、遊技状態がRB成立状態である場合、および遊技状態がRB状態である場合には、通常区間であってもAT抽選は実行されない。AT抽選では、内部抽選のために取得した乱数値をメイン抽選テーブル記憶手段191に記憶されているAT抽選テーブルと比較して、比較結果に応じてAT抽選に当選したか否かを判定する。AT抽選テーブルでは、AT抽選の契機となる内部抽選での各当選態様に対応づけられた内部抽選用の乱数値のそれぞれに対して、当選あるいはハズレのいずれかが対応づけられており、内部抽選のために取得した乱数値がAT抽選テーブルにおいて当選に対応づけられている場合に、AT抽選に当選したと判定される。

20

【0097】

また本実施形態では、AT抽選の抽選状態として当選確率が初期確率の低確率状態と当選確率が初期確率よりも高い高確率状態とを設定可能となっており、AT抽選では抽選状態に応じたAT抽選テーブルが参照されるようになっている。すなわち抽選状態が高確率状態である場合には抽選状態が低確率状態である場合よりも当選確率が高くなるように設定されたAT抽選テーブルが参照される。なお内部抽選での当選態様に応じてAT抽選の当選確率が異なるようにしてもよい。この場合には低確率状態と高確率状態とにおいてAT抽選の当選確率が同一、または低確率状態の方が高確率状態よりもAT抽選の当選確率が高くなる当選態様が存在していてもよく、AT抽選の当選に割り当たられる乱数値の総数が「高確率状態 > 低確率状態」の関係となつていれば当選態様毎のAT抽選の当選確率は任意に定めることができる。

30

【0098】

そして特典付与手段175は、通常区間においてAT抽選に当選すると、AT抽選に当選したことに基づいて有利区間へ移行させることを決定し、有利区間では演出状態を非AT状態からAT準備状態を経由してAT状態に移行させて、有利区間ににおいてアシストタイム遊技を行わせる。なおビッグボーナス（BB）の当選に基づくAT抽選に当選した場合には、ビッグボーナス（BB）の入賞形態を示す図柄組合せが有効ライン上に表示され

40

50

てビッグボーナス（B B）が入賞したことによって有利区間を開始し、A T 抽選の当選情報をB B 状態の終了まで保持し、B B 状態が終了して遊技状態が通常状態に復帰することを契機に演出状態をA T 準備状態に設定し、A T 準備状態を経由してA T 状態へ移行させる。またレギュラーボーナス（R B）の当選に基づくA T 抽選に当選した場合には、レギュラーボーナス（R B）の入賞形態を示す図柄組合せが有効ライン上に表示されてレギュラーボーナス（R B）が入賞したことによって有利区間を開始し、A T 抽選の当選情報をR B 状態の終了まで保持し、R B 状態が終了して遊技状態が通常状態に復帰することを契機に演出状態をA T 準備状態に設定し、A T 準備状態を経由してA T 状態へ移行させる。そして本実施形態では、A T 準備状態、A T 状態、およびA T 終了待機状態は有利区間である場合に限って設定可能となっている。

10

【0099】

そして本実施形態では、A T 準備状態において、演出制御手段180によって、R T 状態をR T 3 状態へ導くように入賞補助演出が実行される。

【0100】

例えば、A T 準備状態においてR T 1 状態に滞在している場合には、打順リプレイ1～打順リプレイ6の当選時にリプレイ2を入賞させることができるように、正解打順を報知する入賞補助演出を実行してR T 状態をR T 2 状態に誘導し、R T 2 状態では打順リプレイ7～打順リプレイ12の当選時にリプレイ3を入賞させることができるように、正解打順を報知する入賞補助演出を実行してR T 状態をR T 3 状態に誘導する。

20

【0101】

なお本実施形態では、A T 準備状態において演出制御手段180によって打順ベルの当選時に正解打順を報知する入賞補助演出が行われるが、A T 準備状態において非R T 状態に滞在している場合にはR T 状態をR T 1 状態に変動させるためにR T 変動ブランクを示す図柄組合せを有効ライン上に表示させるべく不正解打順で停止操作が行われる必要がある。このため、非R T 状態に滞在している状況でA T 抽選に当選した場合には、A T 準備状態であっても非R T 状態に滞在している間は打順ベルの当選時に入賞補助演出は実行されないようになっている。

【0102】

そして特典付与手段175は、A T 準備状態に設定されている場合にR T 状態がR T 3 状態に移行したことに基づいて、演出状態をA T 準備状態からA T 状態へ移行させる。なおA T 準備状態からA T 状態への移行は、A T 準備状態に設定されている場合にR T 状態がR T 2 状態に移行したことに基づいて行われるようにしてよいし、A T 準備状態に設定されている場合にR T 2 状態において打順リプレイ7～打順リプレイ12のいずれかが当選したことに基づいて、当該遊技の終了時にA T 状態へ移行せるようにしてもよい。

30

【0103】

またA T 状態において遊技者の操作ミスによりR T 状態が非R T 状態やR T 1 状態に転落した場合には、A T 状態に滞在している限りはR T 状態をR T 3 状態へ復帰させるように入賞補助演出が行われる。ただしA T 状態においてR T 状態が非R T 状態に転落した場合には、R T 状態をR T 1 状態に誘導するために、R T 変動ブランクを示す図柄組合せが有効ライン上に表示されるまで打順ベルの当選時の入賞補助演出は行われない。

40

【0104】

また特典付与手段175は、有利区間を開始する際に、有利区間を開始する契機として有効ライン上に表示された図柄組合せに応じてA T 状態の終了条件を選択して、その終了条件に対応する遊技回数に相当する値をA T 終了判定カウンタ195に設定する処理を行う。具体的には、ビッグボーナス（B B）の入賞形態を示す図柄組合せが表示されてビッグボーナス（B B）の入賞によって有利区間が開始される場合には、A T 状態の終了条件となる遊技回数を100回に設定し、100回に相当する値「100」を、A T 終了判定カウンタ195に設定し、レギュラーボーナス（R B）の入賞形態を示す図柄組合せが表示されてレギュラーボーナス（R B）の入賞によって有利区間が開始される場合には、A T 状態の終了条件となる遊技回数を50回に設定し、50回に相当する値「50」を、A

50

T 終了判定カウンタ 195 に設定する。そして A T 状態では、1 回のアシストタイム遊技が行われる毎に、例えば、スタートレバー S L が押下されたことを契機として、A T 終了判定カウンタ 195 の値から 1 回分のアシストタイム遊技に相当する一定値「1」を減算するデクリメント更新を行う。なお有利区間において A T 抽選に当選した場合にも、有利区間を開始する際と同じ要領で A T 抽選の当選契機となったボーナスの種類に応じて A T 状態の終了条件が選択されて、選択された終了条件に相当する値が A T 終了判定カウンタ 195 に設定される。また A T 状態においては遊技者の操作ミスにより R T 状態が非 R T 状態や R T 1 状態に転落したことによって R T 状態を R T 3 状態へ復帰させる過程においても A T 終了判定カウンタ 195 のデクリメント更新は継続される。

【0105】

10

そして特典付与手段 175 は、A T 終了判定カウンタ 195 の記憶値が初期値「0」に達すると、A T 状態の終了条件が成立したと判断され、特典付与手段 175 は、演出状態を A T 終了待機状態に設定し、A T 終了待機状態において R T 状態が非 R T 状態または R T 1 状態に移行すると演出状態を非 A T 状態に復帰させる。本実施形態では、A T 状態の終了後の A T 終了待機状態では演出制御手段 180 による打順ベルの当選時の入賞補助演出が行われなくなるため、1 枚小役の入賞または R T 变動ブランクを示す図柄組合せの表示によって R T 状態が非 R T 状態または R T 1 状態に転落しやすくなる。なお A T 状態の終了後の演出状態としては A T 終了待機状態を設けずに非 A T 状態へ復帰するようにしてもよい。また A T 終了待機状態から非 A T 状態への復帰条件は、例えば、打順ベルの当選時に不正解打順で停止操作が行われたことや、R T 变動ブランクを示す図柄組合せが有効ライン上に表示されるか、1 枚小役が入賞すること等としてもよい。

【0106】

20

また特典付与手段 175 は、A T 状態において、内部抽選で得られた小役の当選態様が、スイカ、チェリー、または共通ベルであった場合に、内部抽選での役の当選態様に応じて A T 終了判定カウンタ 195 の値に所与の加算値を上乗せするか否かを決定する上乗せ抽選を行う。

【0107】

30

上乗せ抽選では、内部抽選のために取得した乱数値をメイン抽選テーブル記憶手段 191 に記憶されている上乗せ抽選テーブルと比較して、比較結果に応じて上乗せ抽選に当選したか否かを判定する。上乗せ抽選テーブルでは、上乗せ抽選の契機となる当選態様に対応づけられた乱数値のそれぞれに対して、当選あるいはハズレのいずれかが対応づけられており、上乗せ抽選で取得した乱数値が上乗せ抽選テーブルにおいて当選に対応づけられている場合に、上乗せ抽選に当選したと判定される。また本実施形態では、複数種類の上乗せ抽選テーブルから内部抽選での役の当選態様に応じた上乗せ抽選テーブルが選択されるようになっており、上乗せ抽選の当選確率が「スイカ < チェリー < 共通ベル」の順序で高くなるようになっている。また上乗せ抽選に当選した際の加算値は、「チェリー < 共通ベル < スイカ」の順序で大きな加算値が選ばれるようになっている。なお内部抽選での役の当選態様と上乗せ抽選の当選確率の関係や、内部抽選での役の当選態様と上乗せ抽選に当選した際の加算値の関係は、前述したものに限られず、任意に定めることができる。

【0108】

40

また特典付与手段 175 は、A T 状態においてボーナス（ビッグボーナス（B B）、レギュラーボーナス（R B））が当選した場合には、ボーナスの当選に基づいて A T 終了判定カウンタ 196 のデクリメント更新を中止して A T 状態を中断し、B B 状態や R B 状態の終了後から A T 準備状態を経由して R T 状態が R T 3 状態に移行することに伴って A T 状態が再開されるようになっている。そして本実施形態では、有利区間において A T 状態での遊技を行っている状況においていずれかのボーナスが入賞した場合には、B B 状態や R B 状態の終了後に A T 状態への復帰が確定しているため有利区間が維持されるようになっている。

【0109】

また特典付与手段 175 は、A T 状態に移行する際に、A T 抽選の抽選状態を変動可能

50

とする遊技回数である32回に相当する所定値「32」を、確率変動カウンタ196に設定し、AT状態の終了後におけるAT終了待機状態や非AT状態での遊技において、1回の遊技が行われる毎に、例えば、スタートレバースLが押下されたことを契機として、確率変動カウンタ196の値から1回分の遊技に相当する一定値「1」を減算するデクリメント更新を行う。

【0110】

そして特典付与手段175は、通常区間ではAT抽選の抽選状態を低確率状態で固定する一方で、有利区間においては確率変動カウンタ196の値が初期値（例えば、0）ではない場合に、RT状態に応じてAT抽選の抽選状態を設定し、RT状態が非RT状態またはRT1状態のいずれかである場合にはAT抽選の抽選状態を低確率状態に設定し、RT状態がRT2状態またはRT3状態のいずれかである場合にはAT抽選の抽選状態を高確率状態に設定する。10

【0111】

そして本実施形態では、確率変動カウンタ196の値が初期値（例えば、0）に達すると、有利区間が終了するようになっているが、確率変動カウンタ196が初期値に達するまでの遊技においてAT抽選に当選してAT状態に移行する場合には、そのAT状態に移行する際に確率変動カウンタ196の値が再び所定値「32」に設定される。

【0112】

また本実施形態では、確率変動カウンタ196の値が初期値に達するまでの遊技においてボーナス（ビッグボーナス（BB）、レギュラーボーナス（RB））が当選した場合には確率変動カウンタ196のデクリメント更新が中断され、BB状態やRB状態の終了時までボーナスの当選時における確率変動カウンタ196の値が保持されるが、そのボーナスの当選に基づいて行われたAT抽選で当選すれば、BB状態やRB状態の終了後にAT準備状態を経てAT状態に移行する際に確率変動カウンタ196の値が再び所定値「32」に設定され、ボーナスの当選に基づいて行われたAT抽選に当選しなかった場合には、BB状態やRB状態の終了後に演出状態が非AT状態に復帰することに伴って有利区間が終了する。20

【0113】

また特典付与手段175は、有利区間の終了に基づいて、演出状態に関わる制御情報を初期化する初期化処理を行う。特に本実施形態では初期化処理によって演出状態が非AT状態に初期化されるとともに、AT終了判定カウンタ195および確率変動カウンタ196の値が初期値（例えば、0）に初期化されて通常区間に復帰するようになっている。30

【0114】

また本実施形態では、図14に示すように、通常区間および有利区間の他に、内部中待機区間を設定可能とし、特典付与手段175は、通常区間においてAT抽選に当選したことに基づいて有利区間へ移行させることを決定するが、ビッグボーナス（BB）が当選した遊技でAT抽選に当選したが、ビッグボーナス（BB）が入賞せずにビッグボーナス（BB）が当選した状態が持ち越された場合には内部中待機区間を経由してビッグボーナス（BB）が入賞したことを契機として有利区間を開始する。

【0115】

また特典付与手段175は、レギュラーボーナス（RB）が当選した遊技でAT抽選に当選したが、レギュラーボーナス（RB）が入賞せずにレギュラーボーナス（RB）が当選した状態が持ち越された場合には内部中待機区間を経由してレギュラーボーナス（RB）が入賞したことを契機として有利区間を開始する。40

【0116】

なお本実施形態では、内部中待機区間である場合にはAT抽選の実行を禁止し、内部抽選でAT抽選の実行契機となる当選態様が得られた場合であっても各抽選は実行されないようになっている。ただし内部中待機区間においてもAT抽選を実行するように構成してもよいが、その場合にはAT抽選の結果を無効とすることが好ましい。

【0117】

10

20

30

40

50

また本実施形態では、通常区間において A T 抽選が当選した遊技においてクリアカウンタ 197 の値を所定値（例えば、1）に設定して、有利区間では、1回の遊技が行われる毎にクリアカウンタ 197 の値に1回分の遊技に相当する一定値（例えば、1）を加算するインクリメント更新を行い、クリアカウンタ 197 の値がしきい値（例えば、1500）を超えたこと（クリアカウンタの値が「1501」に達したこと）に基づいて有利区間の終了条件が成立するようになっている。本実施形態においてクリアカウンタ 197 の更新は各遊技における回転中のリールが全て停止した後に行われるようになっているが、各遊技において予め定まっていれば、いずれの契機でクリアカウンタ 197 の更新を行うようにしておく、例えば、スタートレバー S L に対する遊技開始操作を更新契機とするようにしてよい。また有利区間においては、有利区間の終了条件に該当しない限りは、A T 準備状態や A T 準備状態等の各演出状態への移行が発生してもクリアカウンタ 197 の更新が行われる。なお A T 抽選に当選したが、内部中待機区間を経由して有利区間が開始する場合には、内部中待機区間においてはクリアカウンタ 197 の更新は行われずに有利区間の開始とともにクリアカウンタ 197 の更新が開始される。10

【0118】

そして本実施形態では、クリアカウンタ 197 の値がしきい値を超えた場合に有利区間の終了に伴って初期化処理が実行されて通常区間に復帰する。このため、A T 状態に滞在している状況においてクリアカウンタ 197 の値がしきい値を超えた場合には、初期化処理によって A T 状態が強制終了して演出状態が非 A T 状態に初期化されるとともに A T 終了判定カウンタ 195 の値が初期値（例えば、0）に初期化される。また A T 準備状態に滞在している状況においてクリアカウンタ 197 の値がしきい値を超えた場合にも、初期化処理によって A T 準備状態が強制終了して演出状態が非 A T 状態に初期化されるとともに A T 終了判定カウンタ 195 の値が初期値（例えば、0）に初期化され、A T 終了待機状態に滞在している状況においてクリアカウンタ 197 の値がしきい値を超えた場合には、非 A T 状態への復帰条件を満たしていない場合も初期化処理によって A T 終了待機状態が強制終了して演出状態が非 A T 状態に初期化されるとともに確率変動カウンタ 196 の値が初期値（例えば、0）に初期化される。20

【0119】

なお初期化処理では、前述した演出状態、A T 終了判定カウンタ 195、および確率変動カウンタ 196 の初期化のみならずクリアカウンタ 197 の初期化も行われ、具体的にはクリアカウンタ 197 の値が初期値（例えば、0）に初期化される。また本実施形態では、確率変動カウンタ 196 の値が初期値（例えば、0）に達した場合や、B B 状態または R B 状態の終了時に演出状態が非 A T 状態に復帰する場合にも有利区間の終了条件が成立したと判断され、有利区間の終了に伴って初期化処理が実行される。30

【0120】

また本実施形態では、クリアカウンタ 197 の値がしきい値を超えた状況において B B 成立状態や R B 成立状態に滞在している場合でも有利区間が終了して初期化処理が行われるが、この場合には有利区間終了後の通常区間の遊技において既に当選しているボーナス（ビッグボーナス（B B）、レギュラーボーナス（R B））を入賞させることができなかった場合に、そのボーナスの入賞が有利区間への移行を伴うものではないので通常区間が維持される。40

【0121】

また本実施形態では、クリアカウンタ 197 の値がしきい値を超えた状況において B B 状態や R B 状態に滞在している場合においても B B 状態や R B 状態の終了条件が成立しているか否かに関わらずに有利区間を終了させて初期化処理が行われて通常区間に移行するが、通常区間において B B 状態および R B 状態では A T 抽選が行われないようになっているため、B B 状態や R B 状態に滞在している状況において有利区間が終了して初期化処理が行われた場合には B B 状態や R B 状態の終了後の演出状態は必ず非 A T 状態となる。なお有利区間の終了に伴う初期化処理によっては遊技状態の初期化は行われないため、B B 状態や R B 状態に滞在している状況において初期化処理が行われた場合に初期化処理が行50

われるまでに消化したB B状態やR B状態の遊技での払出数等の情報は初期化処理によつては初期化されることなく、そのB B状態やR B状態での遊技がB B状態やR B状態の終了条件が成立するまで行われる。

【0122】

また本実施形態では、通常区間で行われたA T抽選に当選している状況でボーナス(ビッグボーナス(B B)またはレギュラーボーナス(R B))が入賞したことによって有利区間が開始されて有利区間ににおいて演出状態をA T状態に設定してアシストタイム遊技を行うようになっているが、A T状態が終了してもA T状態の終了後からカウントが開始される確率変動カウンタ196の値が初期値に達するまでは有利区間が維持されるようになっている。すなわち本実施形態では、A T状態の終了後も有利区間が継続するため、演出状態が非A T状態に復帰しても有利区間に滞在している場合が存在するようになっている。10

【0123】

また特典付与手段175は、有利区間が開始されたことに基づいて区間表示器SECに内蔵されているLEDを点灯して有利区間に滞在していることを報知し、有利区間の終了に基づいて区間表示器SECに内蔵されているLEDを消灯する制御を行っている。そして本実施形態では通常区間および内部中待機区間では区間表示器SECに内蔵されているLEDは消灯されているようになっているため、区間表示器SECの点灯状態を確認することで有利区間に滞在しているか否かを判断できるようになっている。

【0124】

そして本実施形態では、特典付与手段175が、クリアカウンタ197の値に基づいて有利区間に滞在していることの報知である有利区間報知を開始または終了させるようになっている。例えば、有利区間に移行することに伴ってクリアカウンタ197に所定値(例えば、1)が設定された場合に、クリアカウンタ197の値が初期値「0」より大きくなつたことに基づいて有利区間報知を開始させ、有利区間が終了して通常区間に移行することに伴ってクリアカウンタ197の値が初期値「0」に初期化された場合に、クリアカウンタ197の値が初期値「0」となったことに基づいて有利区間報知を終了させる。20

【0125】

なお本実施形態では、有利区間報知に関して、有利区間が開始されると区間表示器SECに内蔵されているLEDが点灯して即座に有利区間に滞在していることが報知されるようになっているが、有利区間の開始から所定の遊技回数(例えば、32回)が消化されるまでは有利区間であることを報知しない非報知区間とするようにしてもよい。また区間表示器SECは、本実施形態のように専用に設ける必要はなく、遊技情報表示部DSにおける、メダルのクレジット数を表示するクレジット表示器やメダルの払出数を表示する払出表示器などと兼用するようにしてもよい。例えば、クレジット表示器や払出表示器が7セグメント表示器で構成されている場合に、小数点等を表示するドット表示部の点灯・消灯を切り替えるによって有利区間に滞在しているか否かを示し、通常区間ではドット表示部を消灯し、有利区間ではドット表示部を点灯することで有利区間報知とするようにしてもよい。

【0126】

演出制御手段180は、演出データ記憶手段198に記憶されている演出データに基づいて、表示装置330(演出装置の一例)を用いて行う表示演出や音響装置340(演出装置の一例)を用いて行う音響演出に関する制御を行う。例えば、メダルの投入やベットボタンB0、スタートレバーSL、ストップボタンB1～B3に対する操作、遊技状態の変動などの遊技イベントの発生に応じてランプやLEDを点灯あるいは点滅させたり、液晶ディスプレイLCDの表示内容を変化させたり、スピーカから音を出力させたりすることにより、遊技の進行状況に応じて、遊技を盛り上げたり、遊技を補助するための演出の実行制御を行う。遊技において実行される演出の内容は、遊技状態、演出状態、内部抽選の結果等に応じて、サブ抽選テーブル記憶手段199に記憶されている演出抽選テーブルを参照して決定される。4050

【0127】

そして演出制御手段180は、演出状態がA T準備状態およびA T状態である場合において、打順ベルの当選時に正解打順を報知して8枚小役の入賞を補助する入賞補助演出を表示装置330や音響装置340に実行させる制御を行う。ただし、演出状態がA T準備状態であってもR T状態が非R T状態である場合や、A T状態において打順ベルの当選時に遊技者の操作ミスにより1枚小役が入賞してR T状態が非R T状態に転落した場合には、遊技状態をR T1状態に誘導するべくR T変動プランクを示す図柄組合せが有効ライン上に表示されるまで打順ベルが当選しても入賞補助演出は行わないようになっている。

【0128】

また演出制御手段180は、演出状態がA T準備状態である場合に、R T状態がR T1状態に滞在している状況では、打順リプレイ1～打順リプレイ6の当選時において正解打順を報知してリプレイ2の入賞を補助する入賞補助演出を表示装置330や音響装置340に実行させ、R T状態がR T2状態に滞在している状況では、打順リプレイ7～打順リプレイ12の当選時において正解打順を報知してリプレイ3の入賞を補助する入賞補助演出を表示装置330や音響装置340に実行させる制御を行う。

【0129】

また演出制御手段180は、演出状態がA T状態であっても打順ベルの当選時における遊技者の操作ミスによってR T変動プランクを示す図柄組合せが有効ライン上に表示されてR T状態がR T1状態に転落している場合には、A T状態に滞在していることを条件として、打順リプレイ1～打順リプレイ6の当選時において正解打順を報知してリプレイ2の入賞を補助する入賞補助演出を表示装置330や音響装置340に実行させる制御を行う。またA T状態においてR T状態が非R T状態やR T1状態に転落してR T状態をR T3状態へ復帰させる過程においてR T2状態に滞在している場合には、A T状態に滞在していることを条件として、打順リプレイ7～打順リプレイ12の当選時において正解打順を報知してリプレイ3の入賞を補助する入賞補助演出を表示装置330や音響装置340に実行させる制御が行われる。

【0130】

なお本実施形態の機能ロック構成は、コンピュータシステム（ゲームシステムを含む）に関しても適用することができる。これらのシステムでは、本実施形態の遊技制御手段100としてコンピュータを機能させるプログラムを、CD、DVD等の情報記憶媒体あるいはインターネット上のWebサーバからネットワークを介してダウンロードすることによって、その機能を実現することができる。また上記コンピュータシステムでは、メダル投入スイッチ210、ベットスイッチ220、スタートスイッチ230、ストップスイッチ240等は、キーボードやポインティングデバイス（マウス等）、あるいはコントローラなどの操作手段に対してそれらの機能を仮想的に割り当てることにより実現することができる。また上記コンピュータシステムでは、リールユニット310、ホッパーユニット320などは必須の構成要件ではなく、これらの装置ユニットは、ディスプレイ（表示装置330）に表示出力される画像の制御によってそれらの機能を仮想的に実現することができる。

【0131】

2. 本実施形態の手法

まず本実施の形態では、遊技区間として通常区間と有利区間とを設定可能とし、いずれの遊技区間においてもA T抽選を実行可能としているが、通常区間ではA T抽選の当選確率を初期確率で一定とし、有利区間ではA T抽選の当選確率を所定条件下で変動させていく。

【0132】

具体的に説明すると、通常区間においては演出状態が常に非A T状態に設定されており、内部抽選の結果に応じてA T抽選が行われるが、通常区間でのA T抽選の抽選状態は常に低確率状態に設定され、当選確率は初期確率に固定されている。そして本実施の形態では、通常区間においてA T抽選に当選すると有利区間が開始し、有利区間において演出状

10

20

30

40

50

態を A T 状態に設定可能となっているが、A T 状態が終了しても即座に有利区間が終了することではなく、確率変動カウンタ 196 の値が初期値に達するか、クリアカウンタ 197 の値がしきい値を超えるまで有利区間が継続し、演出状態が非 A T 状態に転落しても有利区間に滞在している状況が発生する。すなわち本実施の形態では、非 A T 状態において通常区間に滞在している場合と有利区間に滞在している場合とが存在する。このように有利区間に滞在しつつ演出状態が非 A T 状態である場合にも、内部抽選の結果に応じて A T 抽選が行われるが、通常区間とは異なり、A T 抽選の抽選状態が低確率状態と高確率状態との間で変動するようになり、高確率状態では初期確率よりも高い当選確率で A T 抽選が行われる。すなわち本実施の形態では、通常区間が A T 抽選の当選確率が固定された区間となり、有利区間が A T 抽選の当選確率が変動する区間となっている。

10

【 0133 】

そして本実施の形態では、クリアカウンタ 197 の値がしきい値を超えることによって有利区間が終了することになると、演出状態が A T 状態であった場合に A T 終了判定カウンタ 195 の値がしきい値に達していなくても初期化処理によって強制的に A T 状態を終了させて演出状態を非 A T 状態に初期化する。なお演出状態が A T 準備状態であってもクリアカウンタ 197 の値がしきい値を超えた場合には、A T 状態に移行することなく強制的に A T 準備状態を終了させて初期化処理によって演出状態が非 A T 状態に初期化される。すなわち本実施の形態では、クリアカウンタ 197 の値に基づいて初期化処理を行うことが遊技者に有利な状況が徒に長期間継続しないようにしている。なおクリアカウンタ 197 のしきい値は、有利区間ににおけるメダルの獲得枚数（メダルの投入数と払出数との差）が所定数を超えないように設定することができ、本実施の形態では有利区間ににおけるメダルの獲得枚数が 3000 枚を超えないように設定している。具体的には、クリアカウンタ 197 のしきい値は 3000 枚 / 傾斜値で算出される遊技回数に相当する値となっている。ここで傾斜値はアシストタイム遊技およびボーナス遊技による 1 遊技当りのメダルの純増加枚数の期待値であり、本実施の形態では傾斜値は 2 枚となっている。このため、本実施の形態の有利区間の遊技回数は 1500 回 (= 3000 枚 / 2 枚) となり、有利区間に移行することに伴ってクリアカウンタ 197 に「1」を設定してから 1500 回分の遊技回数をカウントしたら有利区間を終了するようにしきい値を設定している。このように有利区間の期間はメダルの獲得枚数の上限数や傾斜値に依存し、これらの設計次第で任意に設定することができる。なおクリアカウンタ 197 のしきい値については、有利区間での最大遊技回数が 1500 回以内であれば任意の値とすることができます、傾斜値によらない固定値とするようにしてもよい。

20

【 0134 】

また本実施の形態では、遊技状態が B B 状態や R B 状態である場合には通常状態よりも小役の当選確率を高めたボーナス遊技を行うことができるようになっており、また有利区間ににおいて演出状態が A T 状態である場合には打順ベルの当選時に正解打順が報知されることによって非 A T 状態よりも 8 枚小役を入賞させやすいアシストタイム遊技を行うことができるようになっており、B B 状態や R B 状態でのボーナス遊技と有利区間ににおける A T 状態でのアシストタイム遊技とによって、遊技者が手持ちのメダルを増やしていく遊技性を提供する。そして本実施の形態では、有利区間ににおいて B B 状態や R B 状態に滞在している状況でクリアカウンタ 197 の値がしきい値を超えた場合には、その B B 状態や R B 状態に関して終了条件が成立しているか否かに関わらずに有利区間を終了させて初期化処理を実行してアシストタイム遊技を行うことができない通常区間に復帰させるようになっている。このように本実施の形態では、アシストタイム遊技を行うことができる有利区間の継続に制限を設け、特にクリアカウンタ 197 の値がしきい値を超えた場合には B B 状態や R B 状態の途中であっても初期化処理を行って通常区間に復帰させるようになっているため、有利区間ににおいて設計上の獲得期待値を大幅に超えてメダルを過剰に獲得できてしまうことを防いでいる。従って本実施の形態の手法によれば、好適にメダルの獲得性能を調整して射幸性を抑えることができるようになる。

30

【 0135 】

40

50

また本実施の形態では、通常区間において A T 抽選に当選すると、A T 抽選に当選している状況で所定の図柄組合せが有効ライン上に表示されたことに基づいて有利区間を開始するようになっており、有利区間を開始する契機となった図柄組合せの種類に応じて異なる処理を行うことによって、アシストタイム遊技に関連付いた有利度合いを変化させる手法を採用している。

【 0 1 3 6 】

具体的に説明すると、通常区間においては、ビッグボーナス（B B）またはレギュラーボーナス（R B）の当選時、すなわちボーナスの当選時に A T 抽選が行われるようになっており、これらのボーナスは入賞するまで抽選フラグの当選状態が持ち越されるようになっている。そして通常区間で行われた A T 抽選に当選して有利区間に移行することが決定されても、図 14 に示すように、有利区間を開始するためにはボーナスの入賞が必要となっており、当選したボーナスが入賞しなかった場合には、有利区間の開始は保留されて内部中待機区間に移行する。

【 0 1 3 7 】

すなわち本実施の形態では、有利区間を開始する場合には、必ずボーナスの入賞を伴うようになっており、ボーナスの入賞時には、ビッグボーナス（B B）の場合であれば、ビッグボーナス（B B）の入賞形態を示す図柄組合せ「赤 7・赤 7・赤 7」が有効ライン上に表示され、レギュラーボーナス（R B）の場合であれば、レギュラーボーナス（R B）の入賞形態を示す図柄組合せ「赤 7・白 7・赤 7」が有効ライン上に表示される。

【 0 1 3 8 】

このように本実施の形態では、有利区間を開始するに当たって有効ライン上にボーナスの入賞形態を示す図柄組合せが表示され、有利区間の開始契機となった図柄組合せがビッグボーナス（B B）の入賞形態である場合には、A T 状態の終了条件となる遊技回数が 100 回に設定され、有利区間の開始契機となった図柄組合せがレギュラーボーナス（R B）の入賞形態である場合には、A T 状態の終了条件となる遊技回数が 50 回に設定されるようになっている。すなわち本実施の形態では、有利区間を開始するにあたって有効ライン上に表示された図柄組合せによって有利度合いを報知することができる。そして A T 状態の終了条件については、その遊技回数が多いほどアシストタイム遊技を多く行うことができるため遊技者に有利であり、本実施の形態では、有利区間の開始契機となった図柄組合せの種類に応じて A T 状態の終了条件を異ならせてアシストタイム遊技に関連付いた有利度合いが変化するという遊技性を提供して遊技者の関心を惹きつけることができる。

【 0 1 3 9 】

なお本実施の形態では、有利区間の開始契機となった図柄組合せの種類に応じて A T 状態の終了条件を異ならせるようにしたが、有利区間の開始契機となった図柄組合せの種類に応じて A T 状態での上乗せ抽選の当選確率を異ならせたり、A T 状態での上乗せ抽選の実行契機となる内部抽選の当選態様を異ならせたりするようにしてもよい。

【 0 1 4 0 】

また本実施の形態では、有利区間においてビッグボーナス（B B）が当選したことによって A T 抽選が行われる場合があり、その A T 抽選に当選すると、B B 状態の終了後に新たに開始される A T 状態に関して、終了条件となる遊技回数が 100 回に設定され、また有利区間においてレギュラーボーナス（R B）が当選したことによって A T 抽選が行われる場合もあり、その A T 抽選に当選すると、R B 状態の終了後に新たに開始される A T 状態に関して、終了条件となる遊技回数が 50 回に設定されるようになっている。すなわち本実施の形態では、有利区間においてビッグボーナス（B B）の入賞形態を示す図柄組合せが表示された場合と、有利区間においてレギュラーボーナス（R B）の入賞形態を示す図柄組合せが表示された場合とにおいて、その後に開始される A T 状態での終了条件が異なり、結果として、有利区間において有効ライン上に表示された図柄組合せの種類に応じてアシストタイム遊技に関連付いた有利度合いが変化するという遊技性を提供して遊技者の関心を惹きつけることができる。

【 0 1 4 1 】

10

20

30

40

50

なお本実施の形態では、有利区間において有効ライン上に表示された図柄組合せの種類に応じて A T 状態の終了条件を異ならせるようにしたが、有利区間において有効ライン上に表示された図柄組合せの種類に応じて A T 状態での上乗せ抽選の当選確率を異ならせたり、 A T 状態での上乗せ抽選の実行契機となる内部抽選の当選態様を異ならせたりするようにしてよい。

【 0 1 4 2 】

また本実施の形態では非 A T 状態において A T 抽選を行って A T 状態へ移行させるか否かを決定するように構成したが、図 15 に示すように、演出状態として C Z 状態を設けて、非 A T 状態では A T 抽選を行わずに C Z 状態（特別演出状態の他の一例）へ移行させるか否かを決定し、 C Z 状態において A T 抽選を行って、 A T 抽選に当選したことに基づいて演出状態を A T 状態へ移行させるようにしてもよい。この場合には、有利区間の終了時における初期化処理において C Z 状態の開始や終了に係る制御情報や C Z 状態に係る抽選情報などについても初期化されるように構成する。なお C Z 抽選の実行契機はボーナスの当選時とする一方で、 A T 抽選の実行契機はボーナスの当選時であってもよいし、スイカやチェリーなどのボーナス以外の当選態様を得たときとしてもよい。10

【 0 1 4 3 】

そして通常区間ににおいて C Z 抽選に当選してもボーナスが入賞しなければ有利区間の開始を保留して内部中待機区間に移行させ、ボーナスの入賞を契機として有利区間を開始するものとして、有利区間の開始契機となった図柄組合せ（ボーナスの入賞形態を示す図柄組合せ）の種類に応じて C Z 状態の終了条件（例えば、遊技回数）を異ならせるようにしてもよい。また通常区間ににおいてボーナスの当選時に有利区間に移行させるか否かを決定して、有利区間に移行することが決定されている状況でボーナスが入賞したことによって有利区間を開始し、有利区間の開始契機となった図柄組合せ（ボーナスの入賞形態を示す図柄組合せ）の種類に応じて C Z 状態へ移行させる場合と C Z 状態を経由せずに A T 状態へ移行させる場合とを設けてアシストタイム遊技に関連付いた有利度合いを変化させることによってもよい。また C Z 状態を複数種類設けて、 C Z 状態の種類に応じて A T 状態へ移行するための条件を異ならせるようにして、有利区間の開始契機となった図柄組合せの種類に応じて C Z 状態が選択されるようにしてもよい。20

【 0 1 4 4 】

また有利区間ににおいてビッグボーナス（ B B ）の当選時やレギュラーボーナス（ R B ）の当選時に C Z 抽選を行って、 B B 状態や R B 状態の終了後に C Z 状態へ移行させる場合を設けるようにしてもよく、 B B 状態の終了後の C Z 状態と、 R B 状態の終了後の C Z 状態とでは、 C Z 状態の終了条件（例えば、遊技回数）を異ならせるようにしてもよい。このようにすれば、有利区間ににおいて有効ライン上に表示された図柄組合せが、ビッグボーナス（ B B ）の入賞形態を示す図柄組合せ、あるいはレギュラーボーナス（ R B ）の入賞形態を示す図柄組合せのいずれであったかによって、 A T 状態への移行しやすさが変化するので、アシストタイム遊技に関連付いた有利度合いを変化させることができる。なお有利区間ににおいて演出状態が非 A T 状態である場合に、ビッグボーナス（ B B ）が入賞した場合には、 B B 状態の終了後に A T 状態へ移行させ、レギュラーボーナス（ R B ）が入賞した場合には、 R B 状態の終了後に C Z 状態へ移行させるなど、有利区間ににおいて有効ライン上に表示された図柄組合せの種類に応じて移行先の演出状態が変化するようにしてアシストタイム遊技に関連付いた有利度合いを変化させることによってもよい。また C Z 状態を複数種類設けて、 C Z 状態の種類に応じて A T 状態へ移行するための条件を異ならせるようにして、 B B 状態の終了後と R B 状態の終了後とにおいてボーナス入賞時に有効ライン上に表示された図柄組合せに応じて異なる C Z 状態が選択されるようにするなどして、有利区間ににおいて有効ライン上に表示された図柄組合せの種類に応じて C Z 状態が選択されるようにしてよい。40

【 0 1 4 5 】

また本実施の形態では、ボーナス毎に 1 種類の入賞形態を示す図柄組合せが設定されていたが、 1 種類のボーナス（抽選フラグが同一のボーナス）に対して複数種類の入賞形態50

を示す図柄組合せが設定されているようにして、有利区間の開始契機となるボーナスの入賞時に有効ライン上に表示された図柄組合せの種類に応じてアシストタイム遊技に関連付いた有利度合いが変化するようにしてもよい。また、1種類のボーナス（抽選フラグが同一のボーナス）に対して複数種類の入賞形態を示す図柄組合せが設定されているようにして、有利区間においてボーナスが入賞して、その後にC Z状態やA T状態への移行が行われる場合に、その有利区間において有効ライン上に表示されたボーナスの入賞形態を示す図柄組合せの種類に応じてアシストタイム遊技に関連付いた有利度合いが変化するようにしてもよい。

【0146】

また本実施の形態において、特典付与手段175が、A T準備状態またはA T状態において打順ベルや打順リプレイが当選した場合に、打順ベル（打順ベルの当選時）または打順リプレイ（打順リプレイの当選時）の種類に応じた正解打順を示す遊技情報、内部抽選の結果を示す遊技情報、または当選役を示す遊技情報を遊技情報表示部DSに表示させる制御を行うようにしてもよい。この場合には、遊技情報表示部DSにおける、メダルのクレジット数を表示するクレジット表示器やメダルの払出数を表示する払出表示器などにリールの回転中において遊技情報を表示させることができる。なおクレジット表示器や払出表示器を、停止操作に関する操作指示情報を表示させる指示表示器として兼用する場合に、区間表示器SECも兼用せるようにしてもよい。例えば、クレジット表示器や払出表示器が7セグメント表示器で構成されている場合に、数字等を表示する7セグメントの表示態様によって操作指示情報を示し、小数点等を表示するドット表示部の点灯・消灯によって有利区間に滞在しているか否かを示すようにしてもよい。

10

【0147】

また本実施の形態では、A T抽選や上乗せ抽選については内部抽選用の乱数値を使用して当否を決定するようにしたが、内部抽選で所定の抽選結果を得た場合にA T抽選や上乗せ抽選について専用の乱数値を取得して、取得した乱数値に当選またはハズレのいずれかを対応づけた抽選テーブルを参照して当否を決定するようにしてもよい。

20

【0148】

また本実施の形態では、A T状態においてA T終了判定カウンタ195をデクリメント更新することとしたが、インクリメント更新するようにしてもよい。例えば、A T抽選に当選したことに基づいて、A T終了判定カウンタ195の値を初期値「0」に初期化し、A T状態では、1回の遊技が行われる毎にA T終了判定カウンタ195の値に1回分の遊技に相当する一定値「1」を加算するインクリメント更新を行い、A T終了判定カウンタ195の値がしきい値（例えば、50：50回の遊技回数に相当する値）に達したことに基づいてA T状態を終了させるようにしてもよい。またこの例では、上乗せ抽選に当選した場合（所定条件が成立した場合）に、A T終了判定カウンタ195の値から所与の値を減算する更新を行う（A T終了判定カウンタ195が現在の値からしきい値に達するまでにカウントするカウント数が多くなるようにA T終了判定カウンタ195の値を更新する）ようにしてもよいし、所与の値をしきい値に加算してA T状態の終了条件となるしきい値を再設定（更新）する（A T終了判定カウンタ195が現在の値からしきい値に達するまでにカウントするカウント数が多くなるようにA T終了判定カウンタ195のしきい値を更新する）ようにしてもよい。

30

【0149】

また本実施の形態では、A T終了判定カウンタ195はA T状態の遊技回数をカウントするものであったが、A T終了判定カウンタ195の値をメダルの投入数と払出数とに応じて更新し、メダルの払出数からメダルの投入数を差し引いたいわゆる差枚数でA T状態の終了を管理するようにしてもよい。例えば、A T抽選に当選したことに基づいて、A T状態の終了条件となる差枚数である100枚のメダルに相当する値「100」をA T終了判定カウンタ195に設定し、A T状態では、1回の遊技が行われる毎にメダルの投入数（規定投入数）に相当する値をA T終了判定カウンタ195の値に加算するインクリメント更新を行い、小役が入賞してメダルが払い出された場合にメダルの払出数に相当する値

40

50

を A T 終了判定カウンタ 195 の値から減算するデクリメント更新を行い、A T 終了判定カウンタ 195 の値がしきい値（例えば、0）に達したこと（しきい値未満となったこと）に基づいて A T 状態を終了させるようにしてもよい。またこの例では、上乗せ抽選に当選した場合（所定条件が成立した場合）に A T 終了判定カウンタ 195 の値に所与の加算値を上乗せする（A T 終了判定カウンタ 195 が現在の値からしきい値に達するまでにカウントするカウント数が多くなるように A T 終了判定カウンタ 195 の値を更新する）ようにしてもよい。

【0150】

また例えば、A T 抽選に当選したことに基づいて、A T 終了判定カウンタ 195 の値を初期値「0」に初期化し、A T 状態では、1回の遊技が行われる毎にメダルの投入数（規定投入数）に相当する値を A T 終了判定カウンタ 195 の値から減算するデクリメント更新を行い、小役が入賞してメダルが払い出された場合にメダルの払出数に相当する値を A T 終了判定カウンタ 195 の値に加算するインクリメント更新を行い、A T 終了判定カウンタ 195 の記憶値がしきい値（例えば、100 : 100 枚の差枚数に相当する値）に達したこと（しきい値以上となったこと）に基づいて A T 状態を終了させるようにしてもよい。またこの例では、上乗せ抽選に当選した場合（所定条件が成立した場合）に、A T 終了判定カウンタ 195 の値から所与の値を減算する更新を行う（A T 終了判定カウンタ 195 が現在の値からしきい値に達するまでにカウントするカウント数が多くなるように A T 終了判定カウンタ 195 の値を更新する）ようにしてもよいし、所与の値をしきい値に加算して A T 状態の終了条件となるしきい値を再設定（更新）する（A T 終了判定カウンタ 195 が現在の値からしきい値に達するまでにカウントするカウント数が多くなるように A T 終了判定カウンタ 195 のしきい値を更新する）ようにしてもよい。

10

20

【0151】

また本実施の形態では、有利区間に移行することに伴ってクリアカウンタ 197 に所定値（例えば、1）を設定し、有利区間では、クリアカウンタ 197 の値が「1」の状態から更新を開始することとしたが、クリアカウンタ 197 の値が初期値「0」の状態から更新を開始し、クリアカウンタ 197 の値がしきい値である「1500」に達したことに基づいて有利区間を終了させるようにしてもよい。

【0152】

また本実施の形態では、有利区間ににおいてクリアカウンタ 197 をインクリメント更新することとしたが、デクリメント更新するようにしてもよい。例えば、A T 抽選に当選したことに基づいて、有利区間の終了条件となる遊技回数である 1500 回に相当する値「1500」をクリアカウンタ 197 に設定し、有利区間では、1回の遊技が行われる毎にクリアカウンタ 197 の値から 1 回分の遊技に相当する一定値「1」を減算するデクリメント更新を行い、クリアカウンタ 197 の記憶値がしきい値（例えば、0）に達したことに基づいて有利区間を終了させるようにしてもよい。

30

【0153】

また本実施の形態では、クリアカウンタ 197 は 1 回の遊技が行われる毎に更新され、クリアカウンタ 197 の値は有利区間での遊技回数に相当するものであったが、クリアカウンタ 197 の値をメダルの投入数と払出数とに応じて更新するようにしてもよい。このようにすれば、メダルの払出数からメダルの投入数を差し引いたいわゆる差枚数（獲得数）で有利区間を終了させるか否かを管理することができる。

40

【0154】

例えば、A T 抽選に当選したことに基づいて、有利区間の終了条件となる差枚数である 3000 枚のメダルに相当する値「3000」をクリアカウンタ 197 に設定し、有利区間では、1回の遊技が行われる毎にメダルの投入数（規定投入数）に相当する値をクリアカウンタ 197 の値に加算するインクリメント更新を行い、小役が入賞してメダルが払い出された場合にメダルの払出数に相当する値をクリアカウンタ 197 の値から減算するデクリメント更新を行い、クリアカウンタ 197 の値がしきい値（例えば、0）に達したこと（しきい値未満となったこと）に基づいて有利区間を終了させるようにしてもよい。

50

【 0 1 5 5 】

また例えば、A T 抽選に当選したことに基づいて、クリアカウンタ 1 9 7 に所定値（例えば、3）を設定し、有利区間では、1回の遊技が行われる毎にメダルの投入数（規定投入数）に相当する値をクリアカウンタ 1 9 7 の値から減算するデクリメント更新を行い、小役が入賞してメダルが払い出された場合にメダルの払出数に相当する値をクリアカウンタ 1 9 7 の値に加算するインクリメント更新を行い、クリアカウンタ 1 9 7 の値がしきい値（例えば、3 0 0 0 : 3 0 0 0 枚の差枚数に相当する値）に達したこと（またはしきい値を超えたこと）に基づいて有利区間を終了させるようにしてもよい。なおこの例では、A T 抽選の当選時にクリアカウンタ 1 9 7 に所定値を設定しないようにして、有利区間では初期値「0」からクリアカウンタ 1 9 7 の更新を行い、しきい値である「3 0 0 0」に達したこと（または「3 0 0 0」を超えたこと）に基づいて有利区間を終了させるようにしてもよい。10

【 0 1 5 6 】

また A T 終了判定カウンタ 1 9 5 およびクリアカウンタ 1 9 7 においてメダルの差枚数をカウントする場合には、リプレイが入賞した場合にはメダルの払出数を「0」として扱い、リプレイが入賞した遊技の次回の遊技（再遊技）ではメダルの投入数を「0」として扱ってカウンタを更新させないことが望ましい。

【 0 1 5 7 】

また本実施の形態では、B B 状態において小役の当選確率を高めるようにしたが、B B 状態において全ての小役の抽選フラグが当選状態に設定され、B B 状態の遊技では第 1 リール R 1 ~ 第 3 リール R 3 のいずれか 1 つ以上に関して、引き込み範囲が 0 コマ ~ 1 コマの範囲（ストップボタンの押下時点から 7 5 m s e c 以内に停止可能な範囲）で停止するようにしてボーナス遊技を行わせるようにしてもよい。20

【 0 1 5 8 】

この場合には、遊技状態が B B 状態である場合には、第 1 リール R 1 および第 2 リール R 2 については、ストップボタン B 1 , B 2 の押下時点から 1 9 0 m s 以内に、押下されたストップボタンに対応する回転中のリールが停止するが、第 3 リール R 3 については、ストップボタン B 3 が押下された時点から 7 5 m s 以内に、押下されたストップボタンに対応する回転中のリールが停止する。そしてストップボタンの押下時点から 7 5 m s 以内に回転中の第 3 リール R 3 を停止させる場合には、回転している第 3 リール R 3 の停止位置は、ストップボタン B 3 の押下時点から第 3 リール R 3 が停止するまでに要するコマ数が 0 コマ ~ 1 コマの範囲（所定の引き込み範囲）で決定される。そして、リール制御手段 1 3 0 は、B B 状態において押下操作が行われたストップボタン B 3 に対応する回転中の第 3 リール R 3 の外周面上において、抽選フラグが当選状態に設定されている役に対応する図柄が、ストップボタン B 3 に対する押下操作が行われた時点で有効ライン上の表示位置に対して 0 コマ ~ 1 コマの範囲内に位置する場合に、抽選フラグが当選状態に設定されている役に対応する図柄が有効ライン上の表示位置に表示されるように、押下操作が行われたストップボタン B 3 に対応する回転中の第 3 リール R 3 を停止させる制御を行う。30

【 0 1 5 9 】

この態様では、B B 状態において毎回の遊技において小役が必ず当選した状態となる遊技を行うことができるようにして、B B 状態での遊技と有利区間ににおけるアシストタイム遊技とによって遊技者が手持ちの遊技媒体を増やしていく遊技性を提供する。そして、この態様においても、アシストタイム遊技を行うことができる有利区間の継続に制限を設け、クリアカウンタ 1 9 7 の値がしきい値を超えた場合には B B 状態の途中であっても所定の初期化処理を行って通常区間に復帰せらるようすれば、有利区間ににおいて設計上の獲得期待値を大幅に超えてメダルを過剰に獲得できてしまうことを防ぐことができるため、好適にメダルの獲得性能を調整して射倖性を抑えることができるようになる。40

【 0 1 6 0 】

また B B 状態や R B 状態において打順ベルが当選するように内部抽選テーブルを設けて、有利区間である場合には B B 状態や R B 状態において打順ベルの当選時に入賞補助演出50

を行って正解打順を報知し、通常区間である場合には B B 状態や R B 状態において打順ベルの当選時に入賞補助演出を行うことを禁止して正解打順を報知しないようにしてもよい。

【 0 1 6 1 】

また本実施の形態では、A T 終了判定カウンタ 1 9 5 の値に基づく A T 状態の終了条件が成立した場合に A T 終了待機状態を経て非 A T 状態に移行するようにしたが、A T 終了待機状態を設けない様としてもよく、A T 状態の終了条件が成立した場合には R T 状態に関わらずに非 A T 状態に移行させるようにしてもよい。

【 符号の説明 】

【 0 1 6 2 】

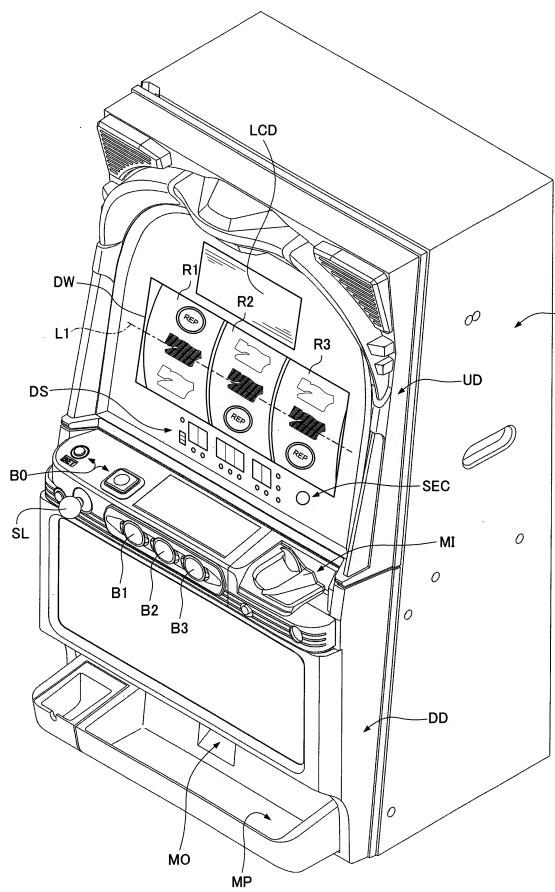
B X 収納箱、U D 前面上扉、D D 前面下扉、D W 表示窓、
 L 1 有効ライン、D S 遊技情報表示部、L C D 液晶ディスプレイ、
 S E C 区間表示器、
 R 1 第 1 リール、R 2 第 2 リール、R 3 第 3 リール、
 B 0 ベットボタン、S L スタートレバー、B 1 ~ B 3 ストップボタン、
 M I メダル投入口、M O メダル払い出し口、M P メダル受け皿、
 1 0 0 遊技制御手段、1 0 5 投入受付手段、1 1 0 乱数発生手段、
 1 2 0 内部抽選手段、1 3 0 リール制御手段、1 4 0 入賞判定手段、
 1 5 0 払出制御手段、1 6 0 リプレイ処理手段、1 7 0 遊技状態移行制御手段、
 1 7 3 R T 制御手段、1 7 5 特典付与手段、
 1 8 0 演出制御手段、1 9 0 記憶手段、
 1 9 1 メイン抽選テーブル記憶手段、1 9 2 抽選フラグ記憶手段、
 1 9 3 停止制御テーブル記憶手段、1 9 4 入賞判定テーブル記憶手段、
 1 9 5 A T 終了判定カウンタ、1 9 6 確率変動カウンタ、
 1 9 7 クリアカウンタ、1 9 8 演出データ記憶手段、
 1 9 9 サブ抽選テーブル記憶手段、
 2 1 0 メダル投入スイッチ、2 2 0 ベットスイッチ、2 3 0 スタートスイッチ、
 2 4 0 ストップスイッチ、3 1 0 リールユニット、3 1 5 リールインデックス、
 3 2 0 ホッパーユニット、3 2 5 払出メダル検出スイッチ、
 3 3 0 表示装置、3 4 0 音響装置

10

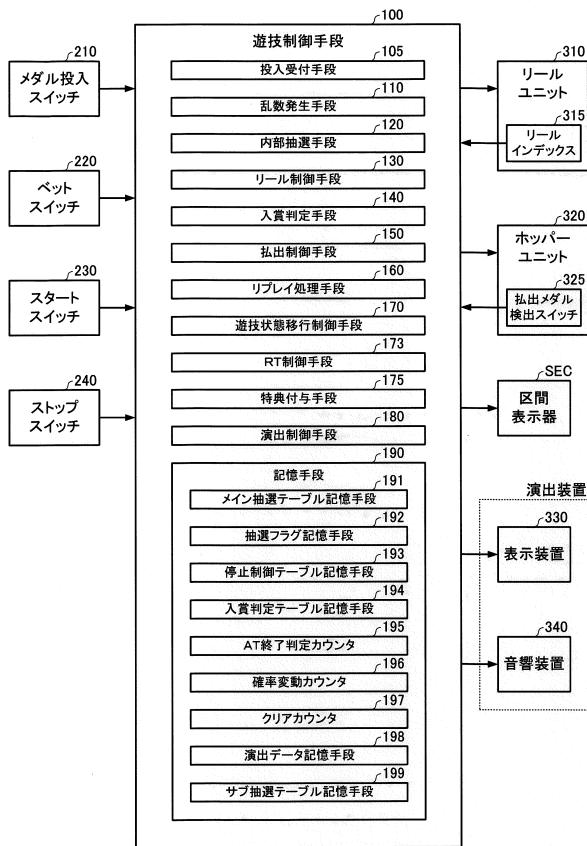
20

30

【 図 1 】



【図2】



【図3】

内部抽選 テーブル1	内部抽選 テーブル2	内部抽選 テーブル3	内部抽選 テーブル4
打順ベル1	打順ベル1	打順ベル1	打順ベル1
打順ベル2	打順ベル2	打順ベル2	打順ベル2
打順ベル3	打順ベル3	打順ベル3	打順ベル3
打順ベル4	打順ベル4	打順ベル4	打順ベル4
打順ベル5	打順ベル5	打順ベル5	打順ベル5
打順ベル6	打順ベル6	打順ベル6	打順ベル6
打順ベル7	打順ベル7	打順ベル7	打順ベル7
打順ベル8	打順ベル8	打順ベル8	打順ベル8
打順ベル9	打順ベル9	打順ベル9	打順ベル9
共通ベル	共通ベル	共通ベル	共通ベル
スイカ	スイカ	スイカ	スイカ
チエリー	チエリー	チエリー	チエリー
通常リプレイ	打順リプレイ1	打順リプレイ9	打順ベル9
	打順リプレイ2	打順リプレイ8	打順ベル8
	打順リプレイ3	打順リプレイ7	打順ベル7
	打順リプレイ4	打順リプレイ6	打順ベル6
	打順リプレイ5	打順リプレイ5	打順ベル5
	打順リプレイ6	打順リプレイ4	打順ベル4
ハズレ	ハズレ	打順リプレイ10	打順ベル4
		打順リプレイ11	打順ベル3
		打順リプレイ12	打順ベル2
		ハズレ	打順ベル2
		ハズレ	打順ベル1
		ハズレ	打順ベル1
RB	RB	RB	RB
BB	BB	BB	BB

【 四 4 】

内部抽選 テーブル5		内部抽選 テーブル6
打順ベル1		
打順ベル2		
打順ベル3		
打順ベル4		
打順ベル5		
打順ベル6		
打順ベル7		
打順ベル8		
打順ベル9		
共通ベル		
スイカ		
チエリー		
通常リプレイ		JAC
ハズレ		

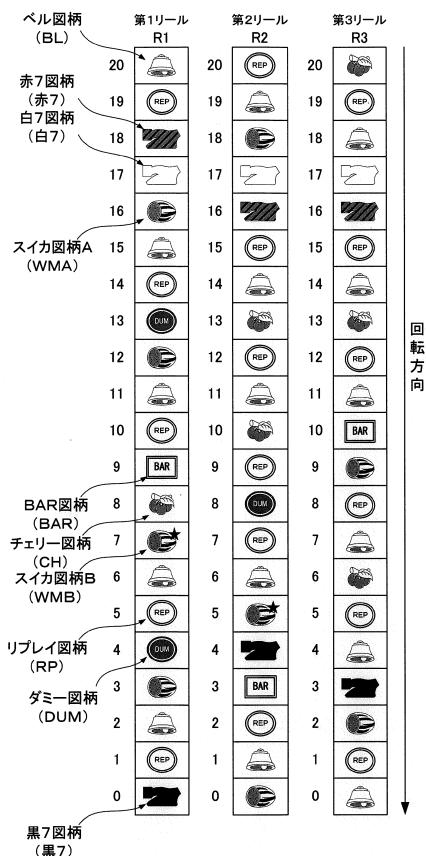
【図5】

打順ベル1	1枚小役(小役1, 2, 4, 5)+8枚小役(小役6)
打順ベル2	1枚小役(小役1, 3, 4, 5)+8枚小役(小役6)
打順ベル3	1枚小役(小役2, 3, 4, 5)+8枚小役(小役6)
打順ベル4	1枚小役(小役1, 4)+8枚小役(小役6)
打順ベル5	1枚小役(小役2, 4)+8枚小役(小役6)
打順ベル6	1枚小役(小役3, 4)+8枚小役(小役6)
打順ベル7	1枚小役(小役1, 4, 5)+8枚小役(小役6)
打順ベル8	1枚小役(小役2, 4, 5)+8枚小役(小役6)
打順ベル9	1枚小役(小役3, 4, 5)+8枚小役(小役6)
共通ベル	13枚小役(小役9)+14枚小役(小役10)
スイカ	3枚小役(小役8)
チエリー	2枚小役(小役7)
JAC	1枚小役(小役1~5)+2枚小役(小役7)+3枚小役(小役8)+8枚小役(小役6) +13枚小役(小役9)+14枚小役(小役10)+15枚小役(小役11)

【図6】

通常リプレイ	リプレイ1
打順リプレイ1	リプレイ1, 2
打順リプレイ2	リプレイ1, 2, 4
打順リプレイ3	リプレイ1, 2, 5
打順リプレイ4	リプレイ1, 2, 6
打順リプレイ5	リプレイ1, 2, 4, 5
打順リプレイ6	リプレイ1, 2, 4, 5, 6
打順リプレイ7	リプレイ1, 3
打順リプレイ8	リプレイ1, 3, 4
打順リプレイ9	リプレイ1, 3, 5
打順リプレイ10	リプレイ1, 3, 6
打順リプレイ11	リプレイ1, 3, 4, 5
打順リプレイ12	リプレイ1, 3, 4, 5, 6

【図7】



【図8】

当選エリア	打順1	打順2	打順3	打順4	打順5	打順6
打順ベル1 正解打順:打順1, 2	8枚小役 (小役6)				1枚小役 または RT変動ブランク	
打順ベル2 正解打順:打順1, 2	8枚小役 (小役6)				1枚小役 または RT変動ブランク	
打順ベル3 正解打順:打順1, 2	8枚小役 (小役6)				1枚小役 または RT変動ブランク	
打順ベル4 正解打順:打順3, 4	1枚小役 または RT変動ブランク		8枚小役 (小役6)		1枚小役 または RT変動ブランク	
打順ベル5 正解打順:打順3, 4	1枚小役 または RT変動ブランク		8枚小役 (小役6)		1枚小役 または RT変動ブランク	
打順ベル6 正解打順:打順3, 4	1枚小役 または RT変動ブランク		8枚小役 (小役6)		1枚小役 または RT変動ブランク	
打順ベル7 正解打順:打順5, 6	1枚小役 または RT変動ブランク			8枚小役 (小役6)		
打順ベル8 正解打順:打順5, 6	1枚小役 または RT変動ブランク			8枚小役 (小役6)		
打順ベル9 正解打順:打順5, 6	1枚小役 または RT変動ブランク				8枚小役 (小役6)	

打順1: B1→B2→B3 打順2: B1→B3→B2 打順3: B2→B1→B3
打順4: B2→B3→B1 打順5: B3→B1→B2 打順6: B3→B2→B1

【図9】

当選エリア	打順1	打順2	打順3	打順4	打順5	打順6		
打順リプレイ1 正解打順:打順1, 2	リプレイ2	リプレイ1						
打順リプレイ2 正解打順:打順1, 2	リプレイ2	リプレイ1						
打順リプレイ3 正解打順:打順3, 4	リプレイ1	リプレイ2		リプレイ1				
打順リプレイ4 正解打順:打順3, 4	リプレイ1	リプレイ2		リプレイ1				
打順リプレイ5 正解打順:打順5, 6	リプレイ1		リプレイ2					
打順リプレイ6 正解打順:打順5, 6	リプレイ1		リプレイ2					
打順リプレイ7 正解打順:打順1, 2	リプレイ3	リプレイ1						
打順リプレイ8 正解打順:打順1, 2	リプレイ3	リプレイ1						
打順リプレイ9 正解打順:打順3, 4	リプレイ1	リプレイ3		リプレイ1				
打順リプレイ10 正解打順:打順3, 4	リプレイ1	リプレイ3		リプレイ1				
打順リプレイ11 正解打順:打順5, 6	リプレイ1		リプレイ3					
打順リプレイ12 正解打順:打順5, 6	リプレイ1		リプレイ3					

打順1: B1→B2→B3 打順2: B1→B3→B2 打順3: B2→B1→B3
打順4: B2→B3→B1 打順5: B3→B1→B2 打順6: B3→B2→B1

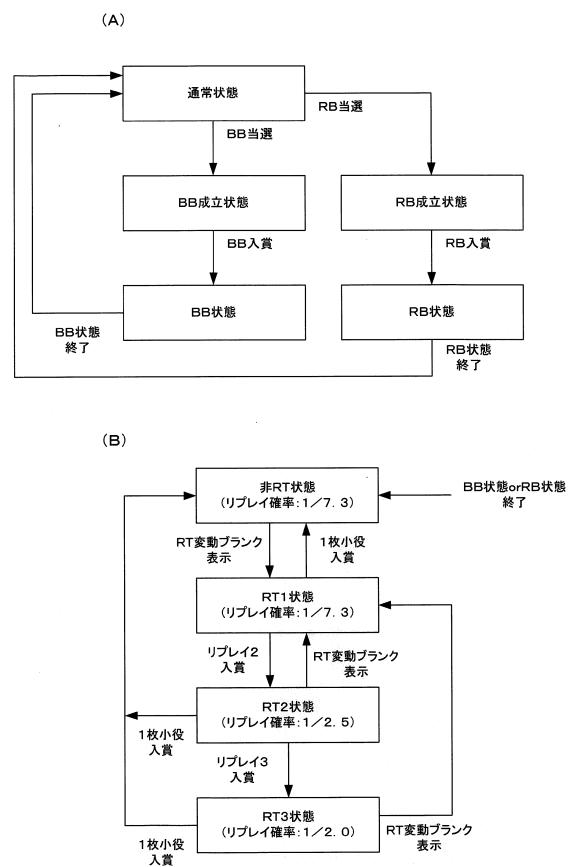
【図10】

入賞役等	図柄組合せ			配当
BB				—
RB				—
リプレイ1				—
リプレイ2				—
リプレイ3				—
リプレイ4				—
リプレイ5				—
リプレイ6				—
RT変動 ブランク				—

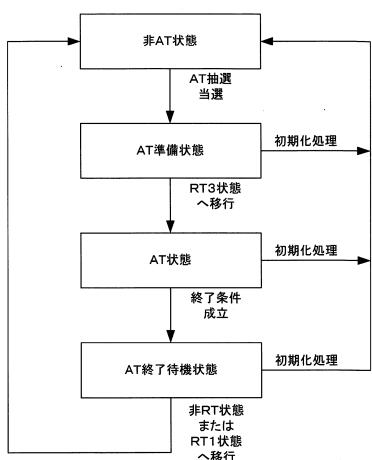
【図11】

入賞役等	図柄組合せ			配当
小役1				1枚
小役2				1枚
小役3				1枚
小役4				1枚
小役5				1枚
小役6				8枚
小役7				2枚
小役8				3枚
小役9				13枚
小役10				14枚
小役11				15枚

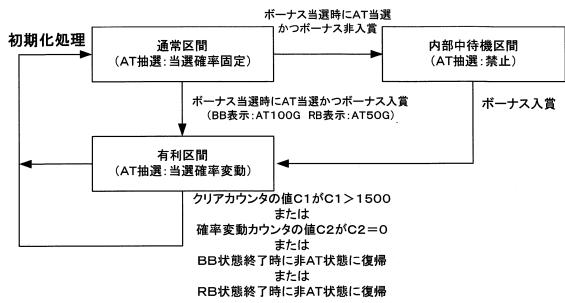
【図12】



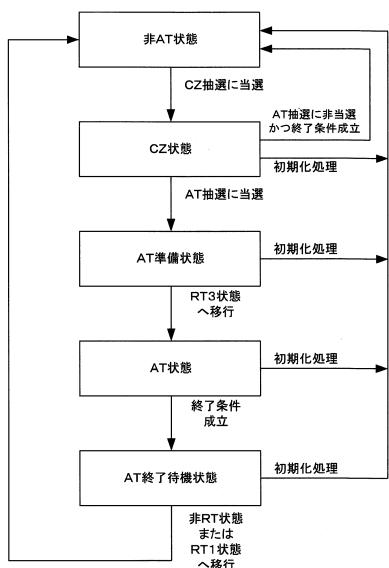
【図13】



【図14】



【図15】



フロントページの続き

(56)参考文献 特開2017-169919(JP,A)
特開2017-225598(JP,A)
特開2014-083099(JP,A)
特開2006-014937(JP,A)
特開2002-058792(JP,A)

(58)調査した分野(Int.Cl., DB名)

A 63 F 5 / 04